ママさん、夜這いはOKデスか？

～絶倫外国人の極太チ●ポに何度もイキ喘ぐ 9

断華ナオキ

やあ
タケル君
こんにちは

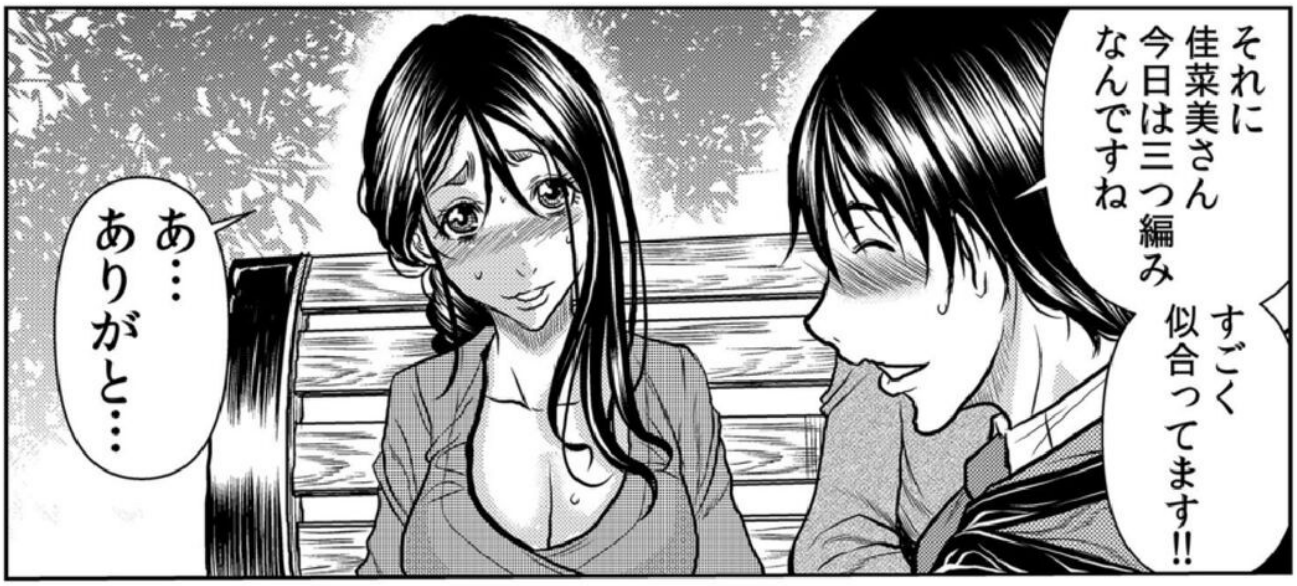
な…
菜緒は
まだ…
学校？

たぶん部活だと
思います
僕は
今日部活なくて
早く帰ってきたので

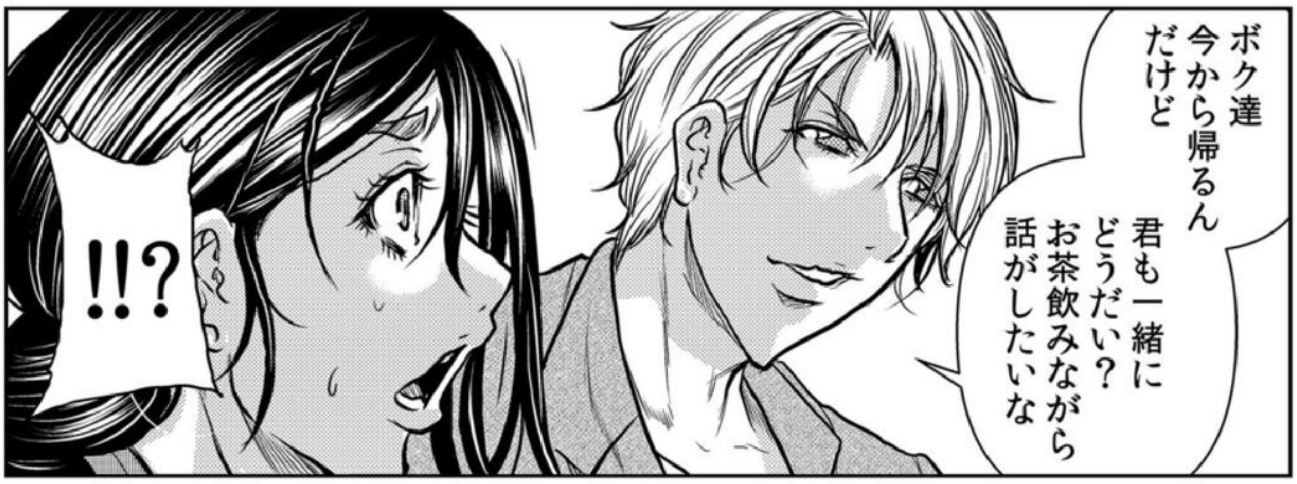
お二人は
ここでなにを？
あ…あの
えっと…

ボクが
通ってる大学の
お世話に
なってる人に
一緒に
アイサツに
行ってくれたん
だよ

あ
そうなん
ですか!!
ロベルトさんは
大学生
なんですね

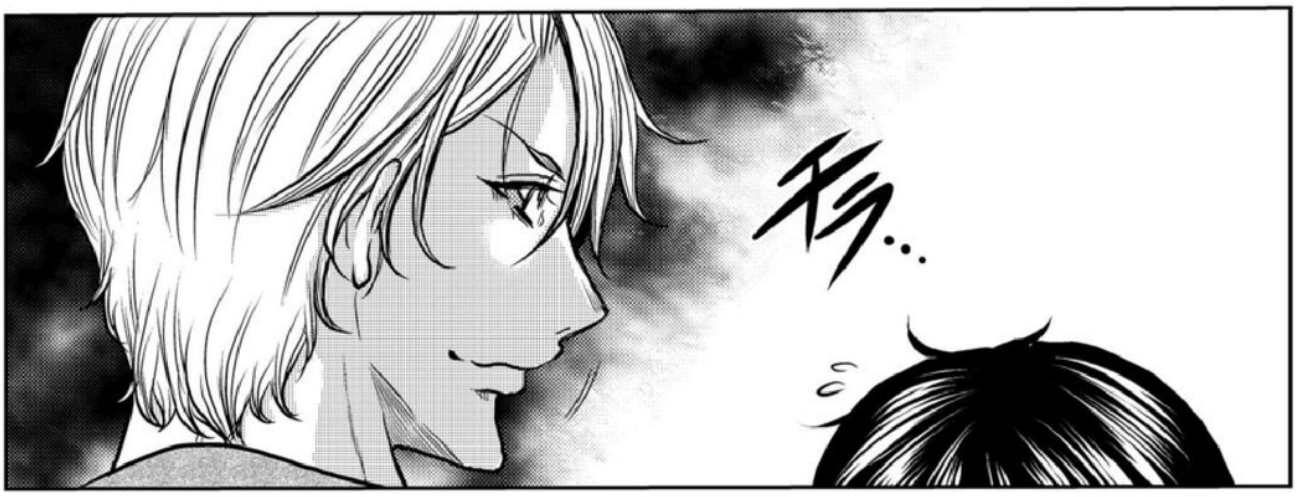

それに
佳菜美さん
今日は三つ編み
なんですね
すごく
似合ってます!!
あ…
ありがと…

……


ボク達
今から帰るん
だけど
君も一緒に
どうだい?
お茶飲みながら
話がしたいな
!!?

え!!
家にですか?!
で…でも
ご迷惑じゃ…

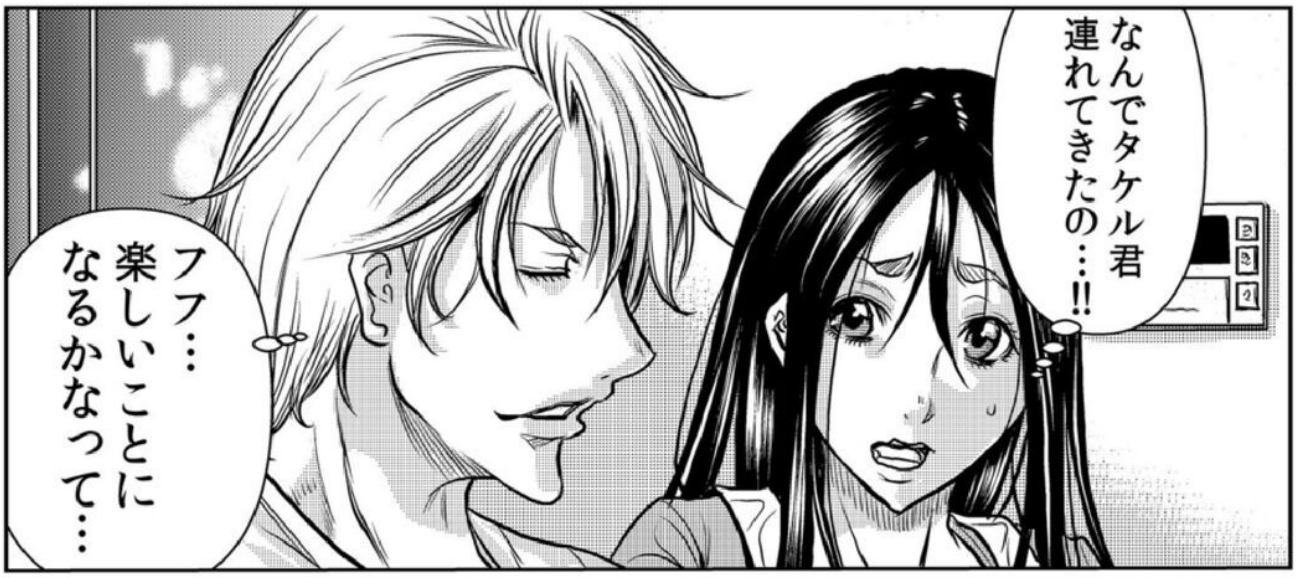
大丈夫さ
さあ
行こうか
え…あ…
はい…っ

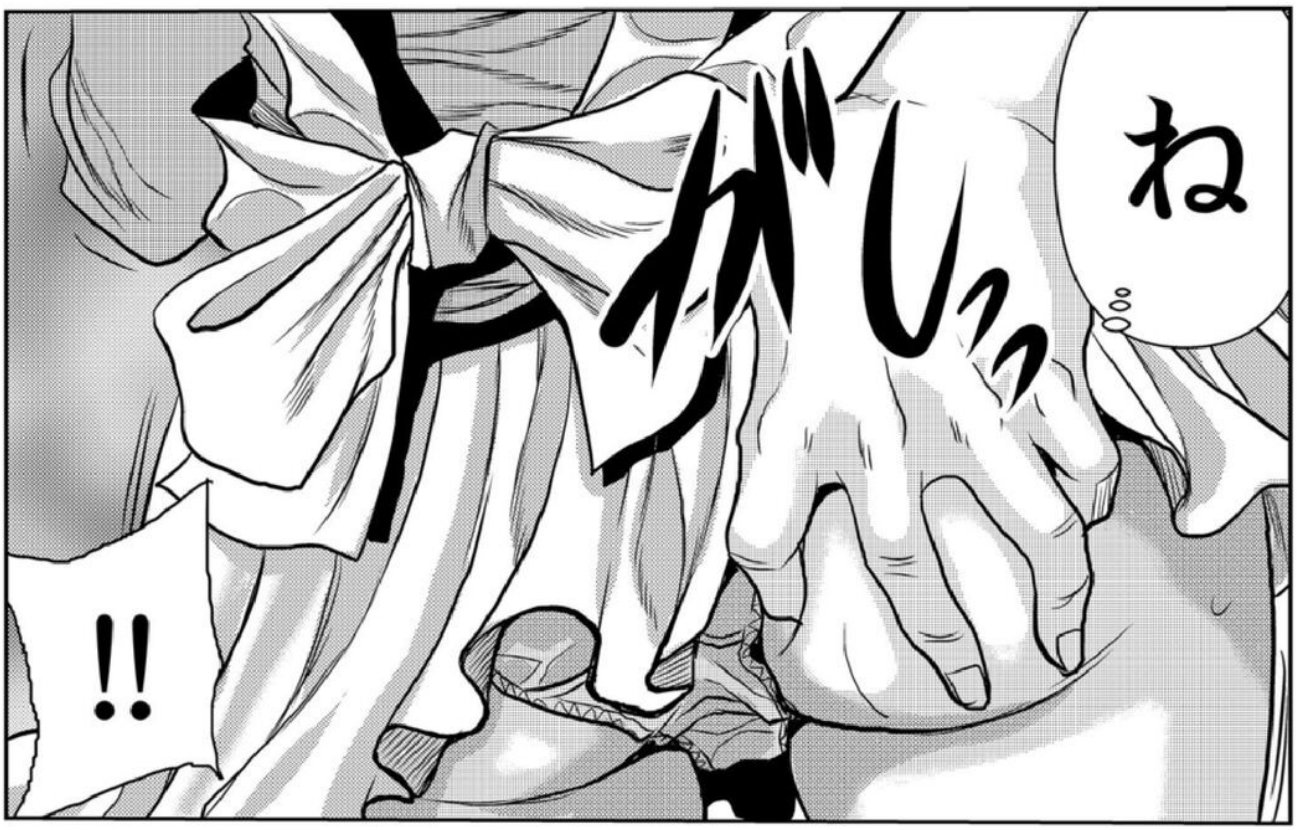

キラ…

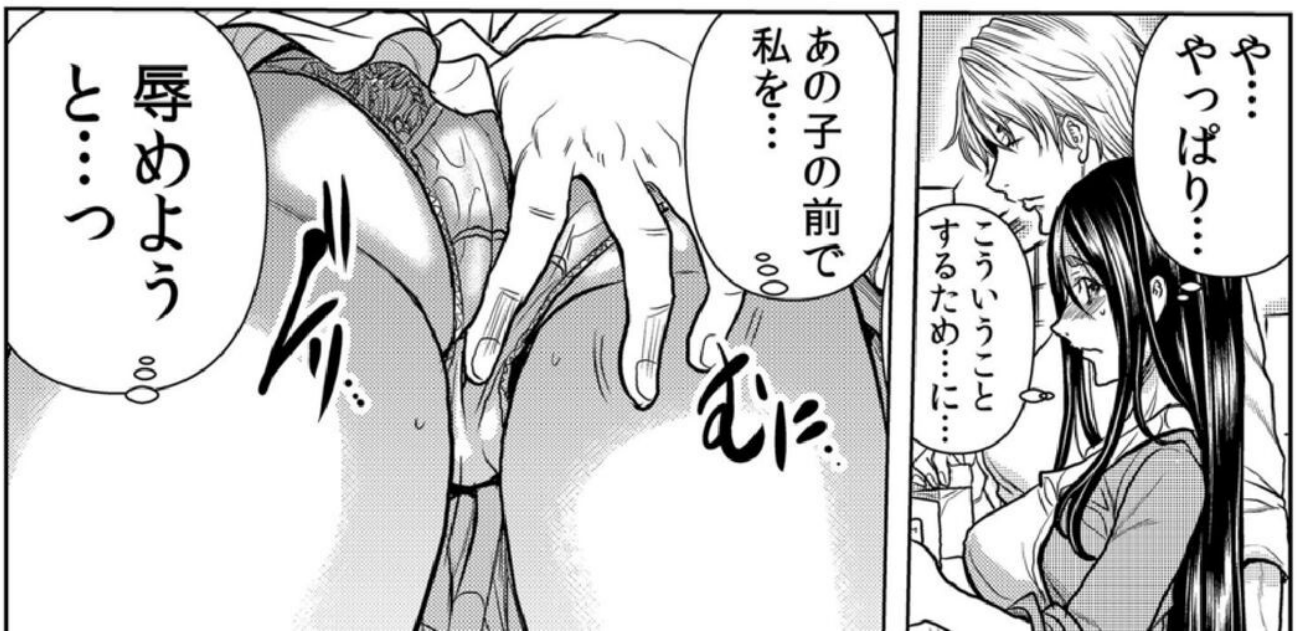
な…
なに
考えてるの
…!!

待っててね
今お茶淹れる
からね
おっ
おかまいなく!!
本当水で
いいんで!!

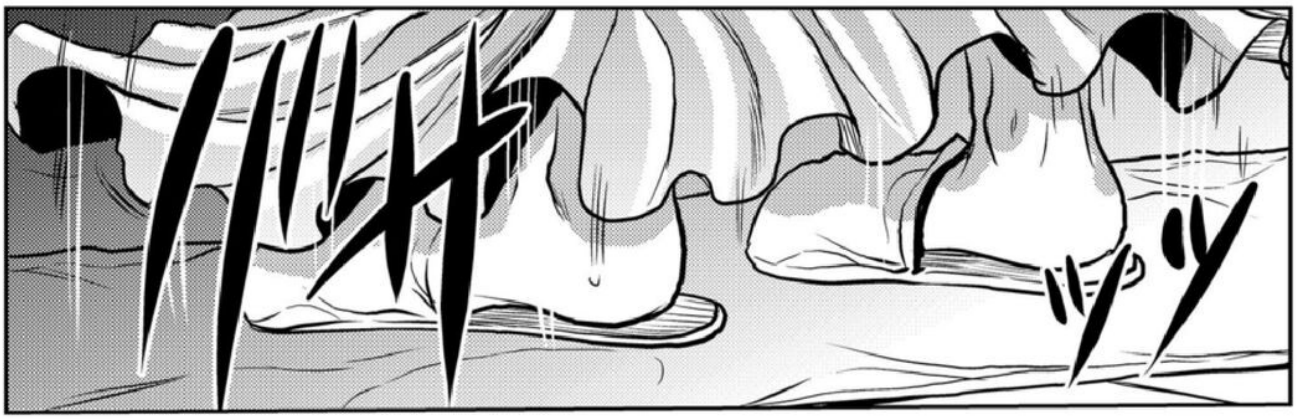
エプロン姿の
佳菜美さん…
キ…
キレイだ…


なんでタケル君
連れてきたの…!!
フフ…
楽しいことに
なるかなって…


ね
ガシッ
!!


や…
やっぱり…
こういうこと
するため…に…
あの子の前で
私を…
むに
辱めよう
と…っ

タケル君は
部活はなにをしてるんだい？
僕ですか!?
陸上やってます!!
長距離なんですがそんなに速くは…

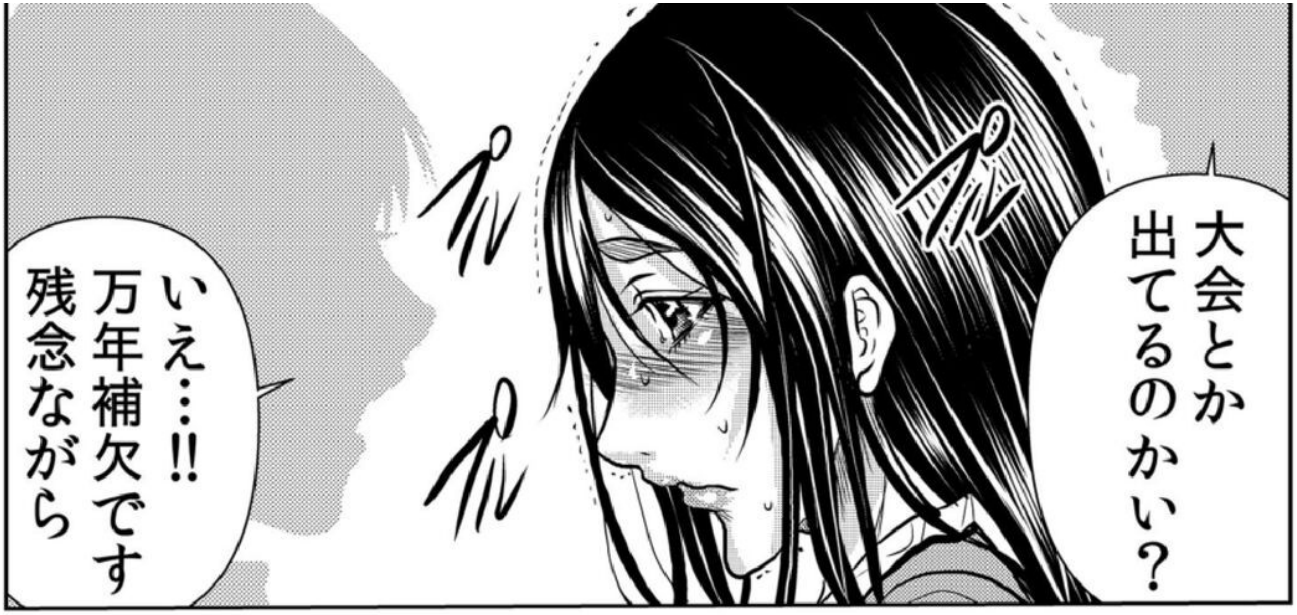


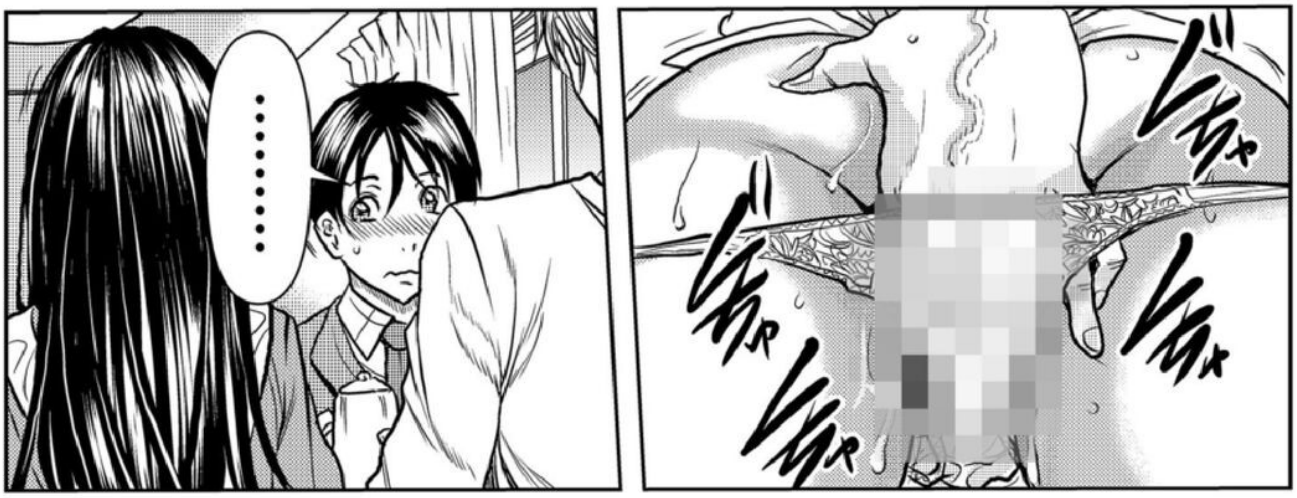
!!!
そうなんだ
ボクもやってたよ
昔
今はそんなに
速く走れないけどね

ロベルトさんも陸上やられてたなんて奇遇ですね!!
ピチャ
ピチャ
ピチャ
フフ…そうだね…

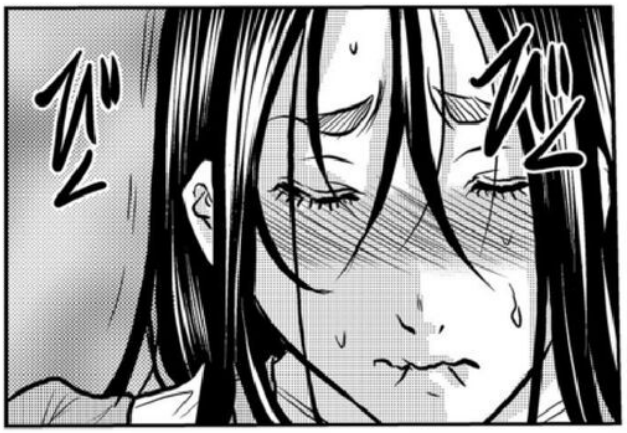
タケル君これ
テーブルに持っていってくれるかな?
あっはい!!
了解です!!

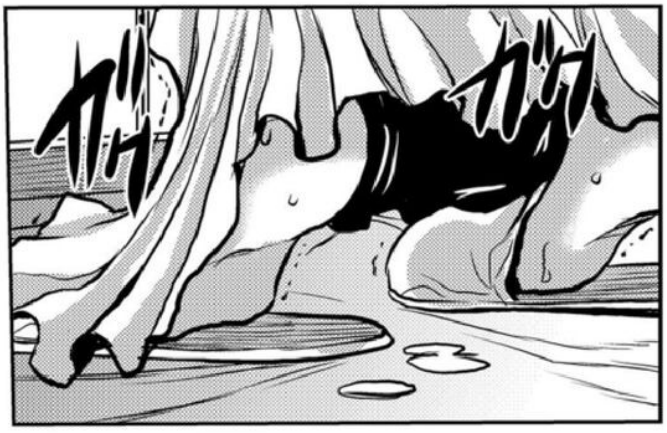
ロベルトさんも長距離だったんですか?
いやボクは短距離だったヨ
ピチャ
ピチャ
ピチャ


大会とか出てるのかい？
いえ…!!万年補欠です残念ながら

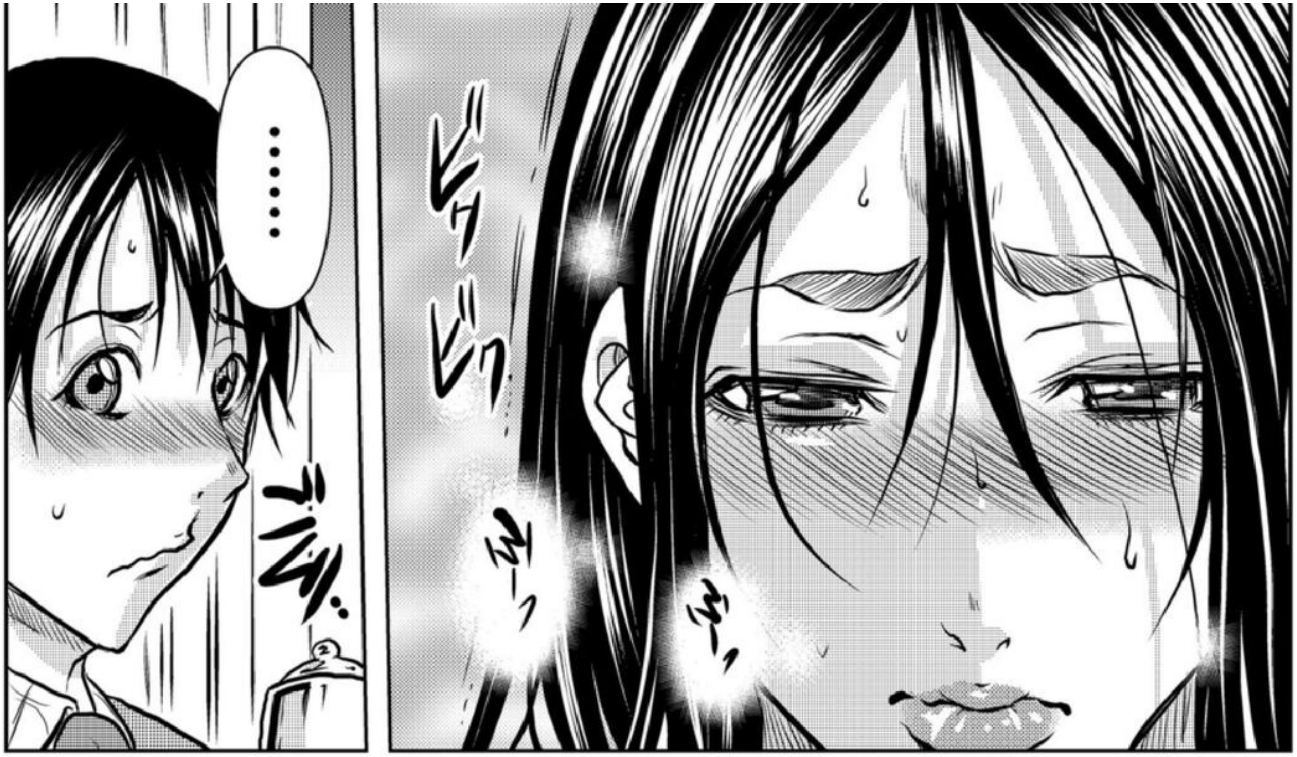

……

……っ目の前にいるのに…っ
そんな激しく…っ





こっ
これ以上は
…っ
こ…
声が…
ダ…ダメ…
耐えるのよ
…っ


……
ビクビク…
ゴクリ…
ぎゅ

あ…
あの…
僕カップも
持っていき
ましょうか…？

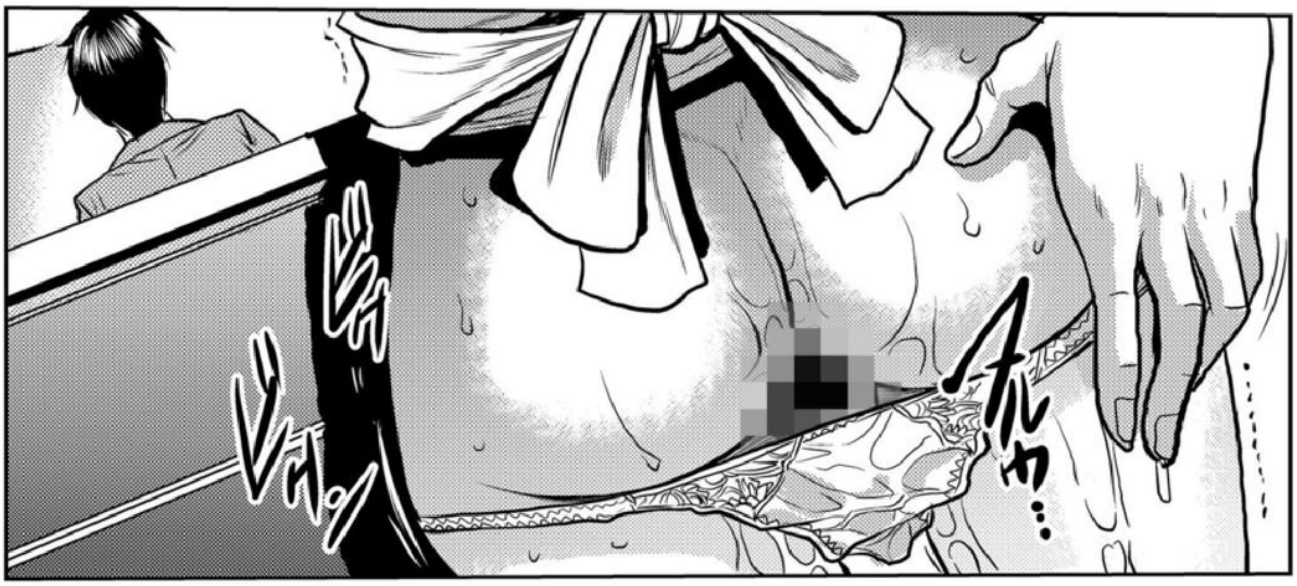
だ…

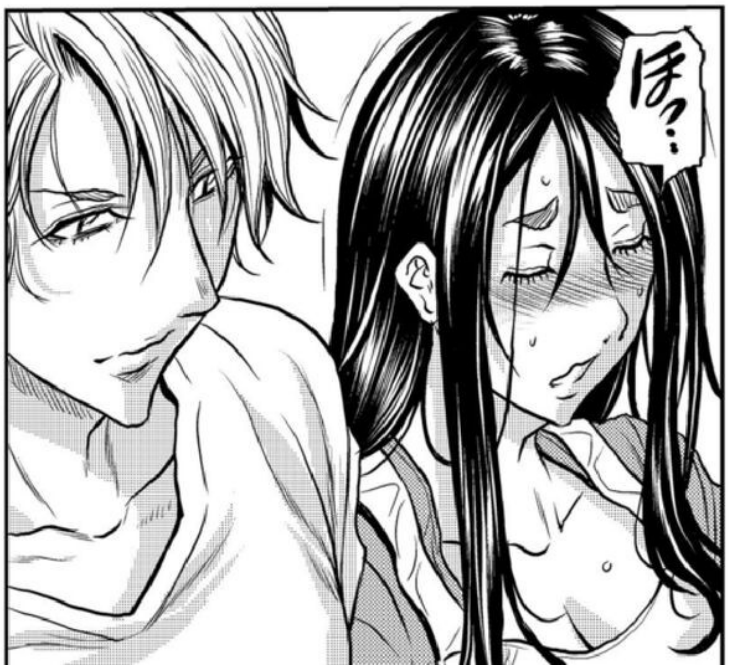
ぽっ。
はっ

だめよっ!!!
ビクッ

だ…
だってホラ
お客さん
なんだから!!

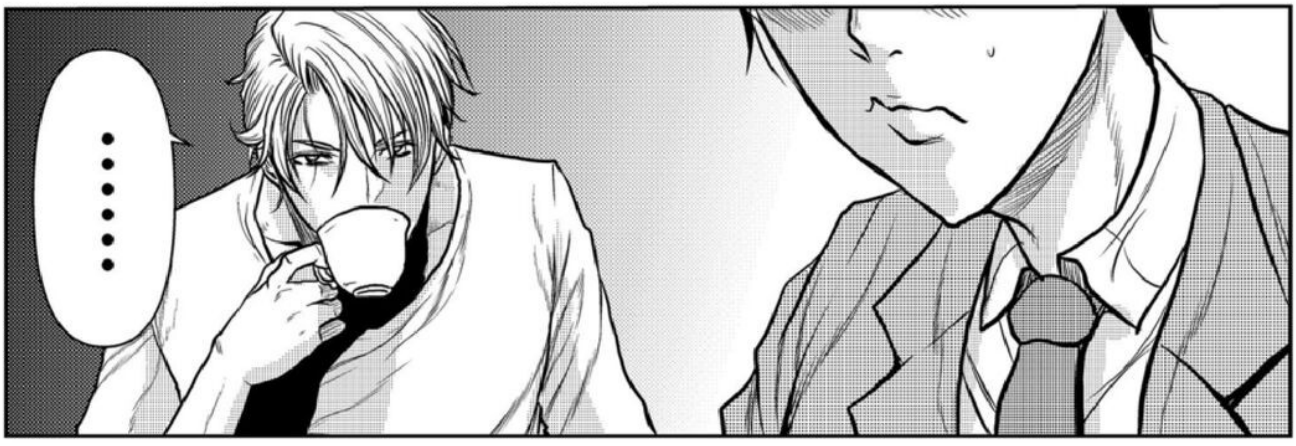
座って
待ってて
いいのよ!!
ね!!
は…はい
すみません!!
ぬとぉ…

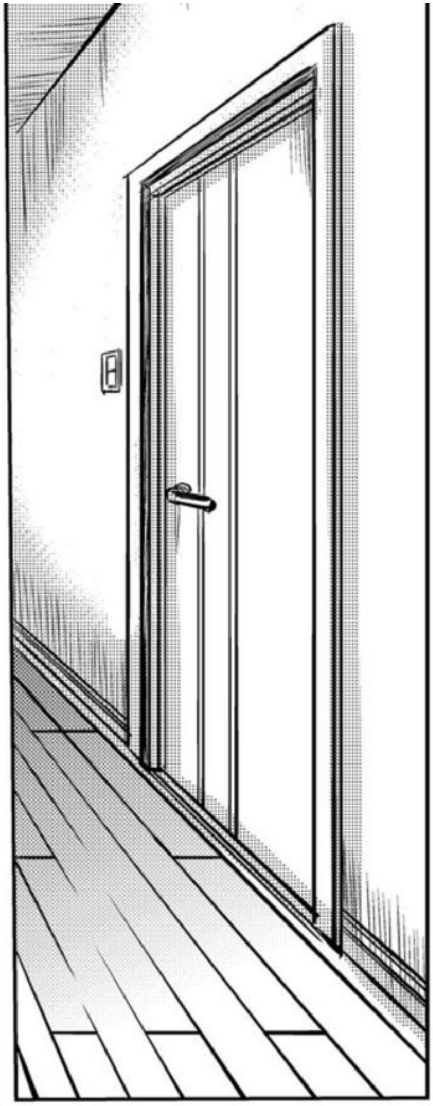

ヌルゥ…


ほっ…

ロベルトさん
今度英語
教えてください
僕あんまり
得意じゃ
なくて…
ハハハ
ボクで
良ければ
ちょっと
着替えてくるね
あっ
はい

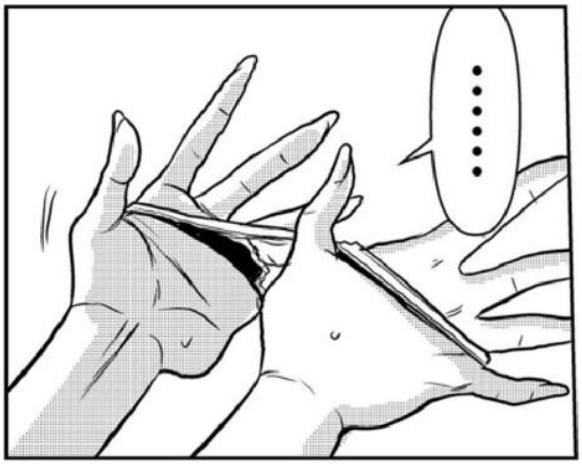
か…
佳菜美さんの
着替え…
か…

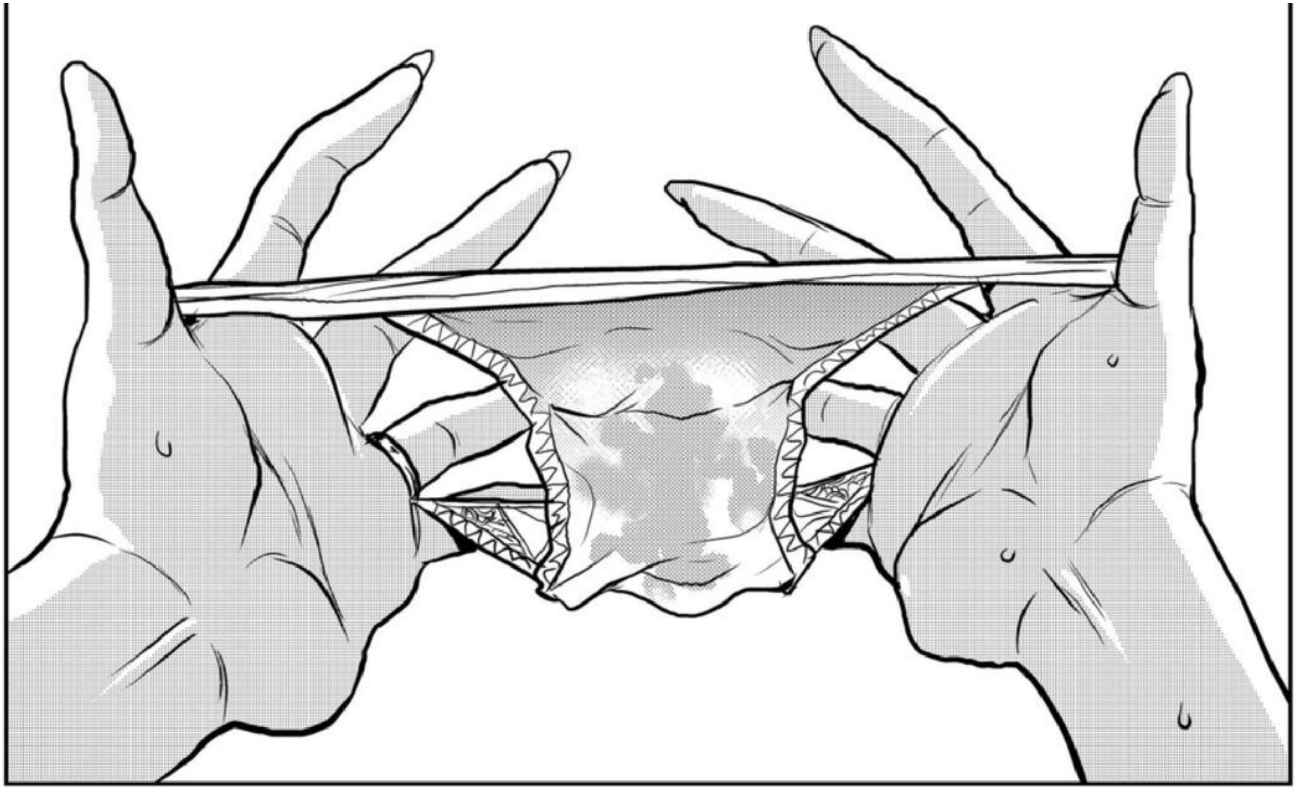

……

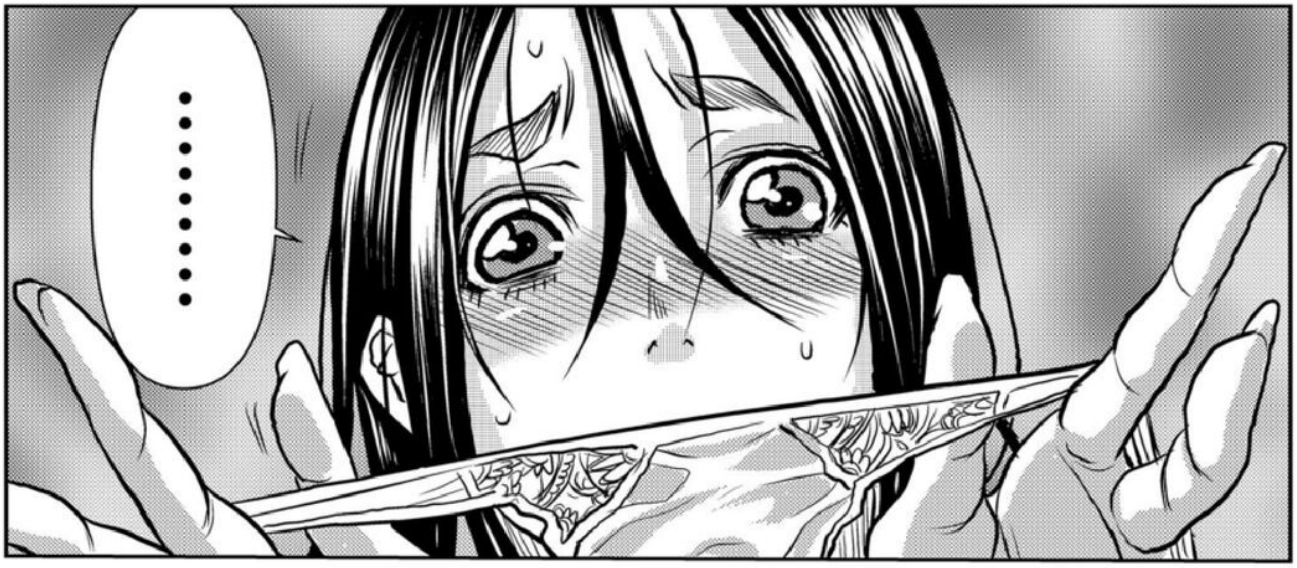


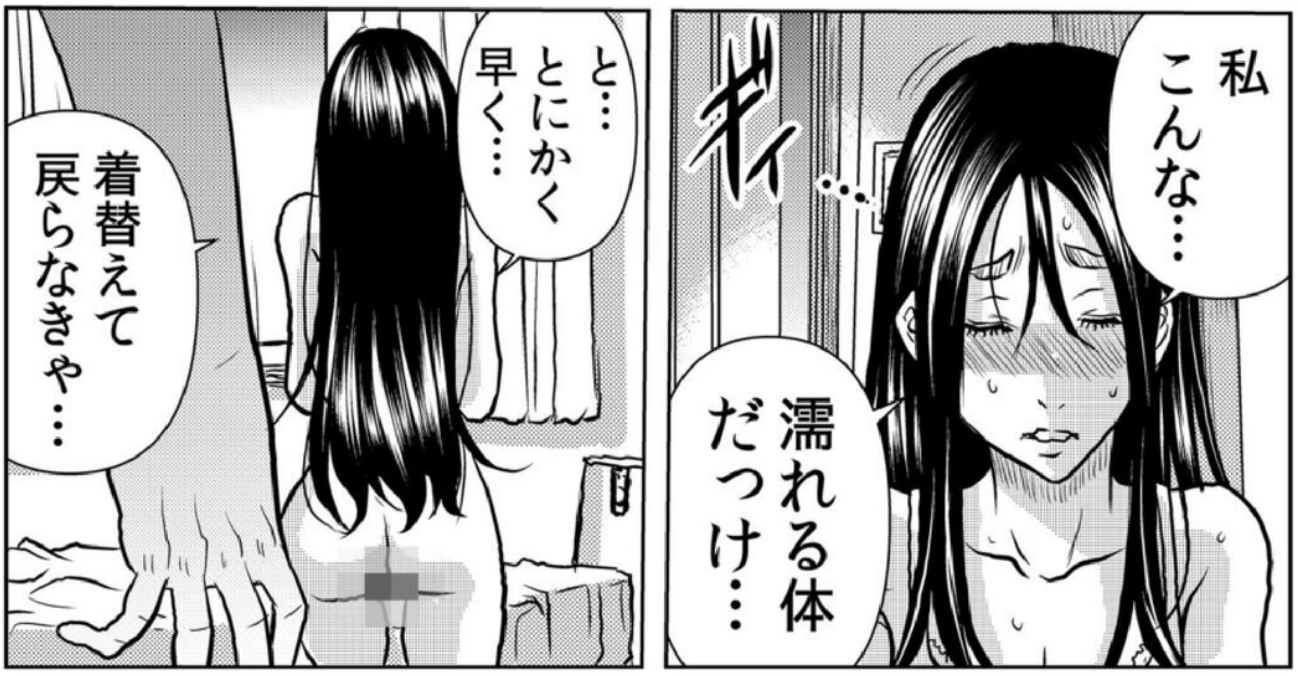
はあ…本当…
なに
考えてるのよ…

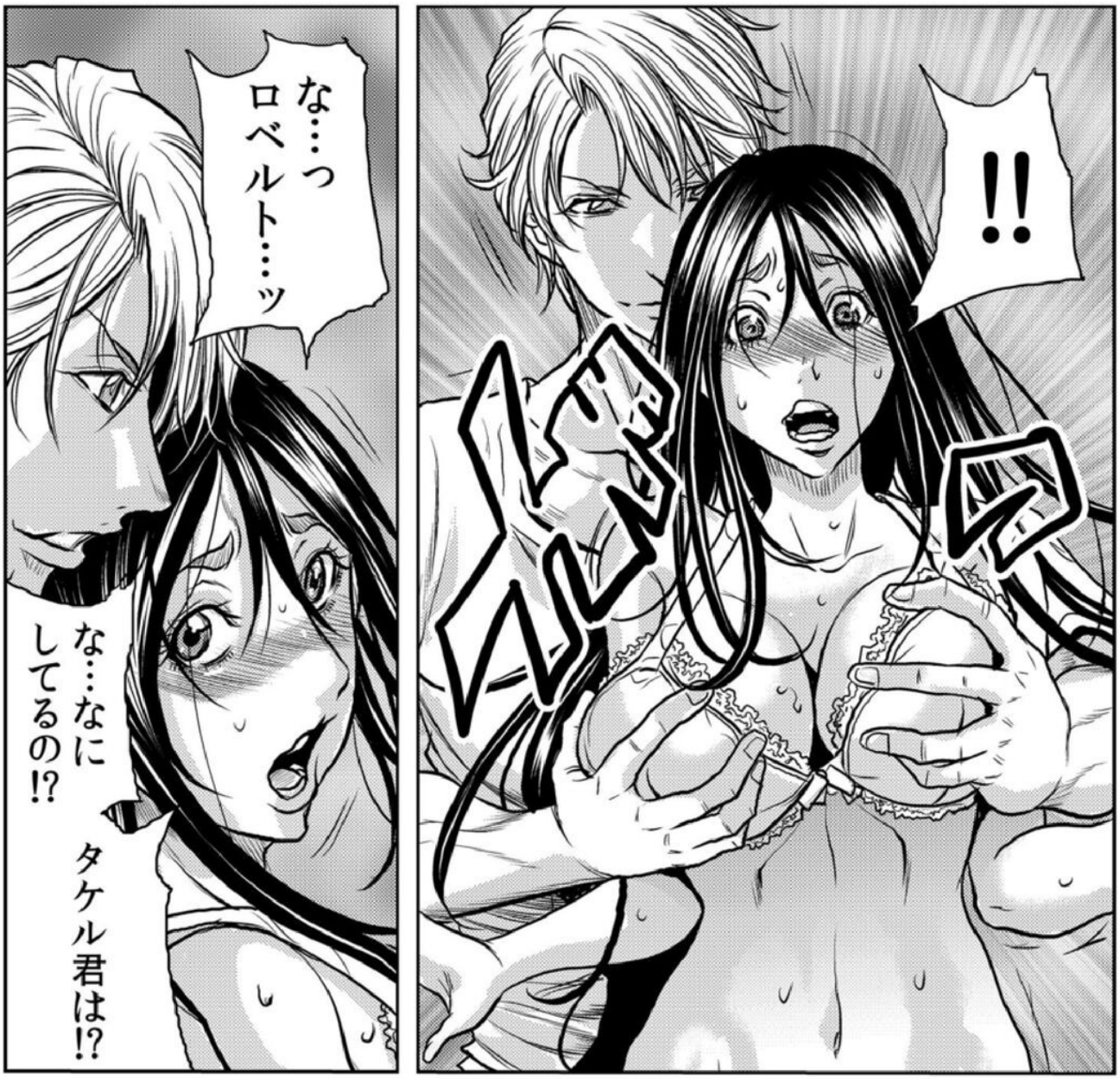
下着変えた
ばかりなのに…
もうこんな
グチャグチャに
されて…

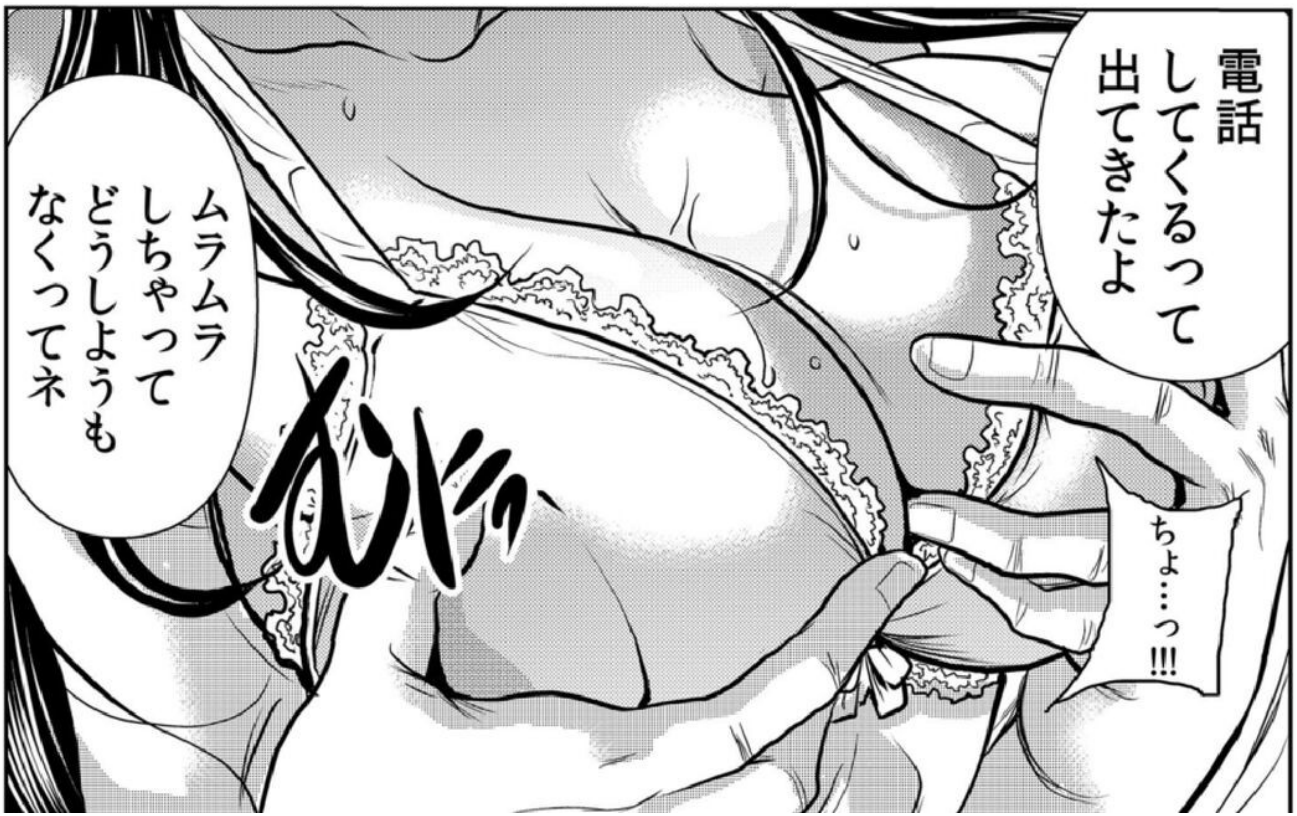

……

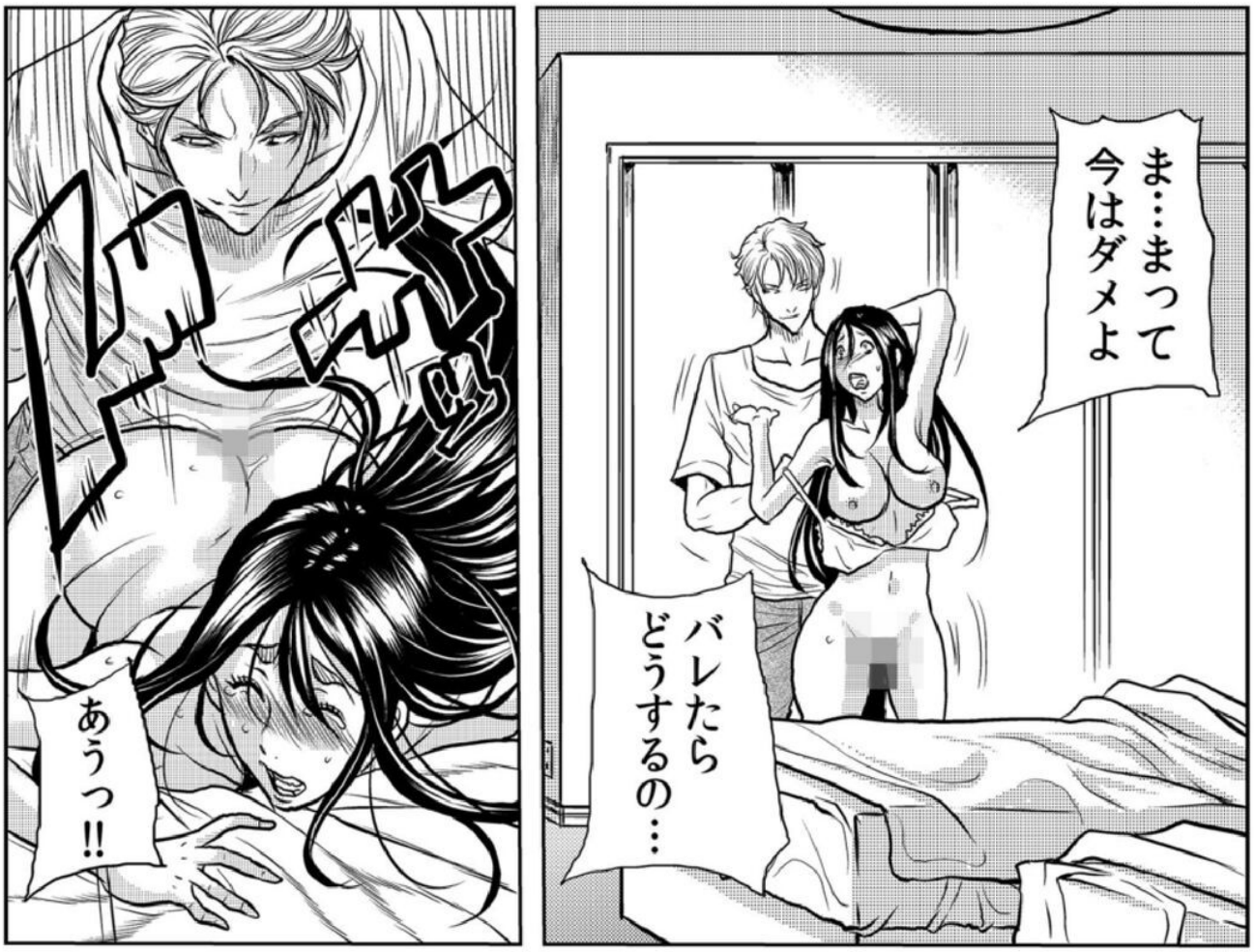



……


私
こんな…
ギィ…
濡れる体
だっけ…
と…
とにかく
早く…
着替えて
戻らなきゃ…


!!
ムニュ
な…っ
ロベルト…ッ
な…なに
してるの!?
タケル君は!?


電話
してくるって
出てきたよ
ちょ…っ!!!
ムニュ
ムラムラ
しちゃって
どうしようも
なくってネ


ま…まって
今はダメよ
バレたら
どうするの…

あうっ!!

大丈夫だヨ
それなら
それでネ…

ま…
まって…

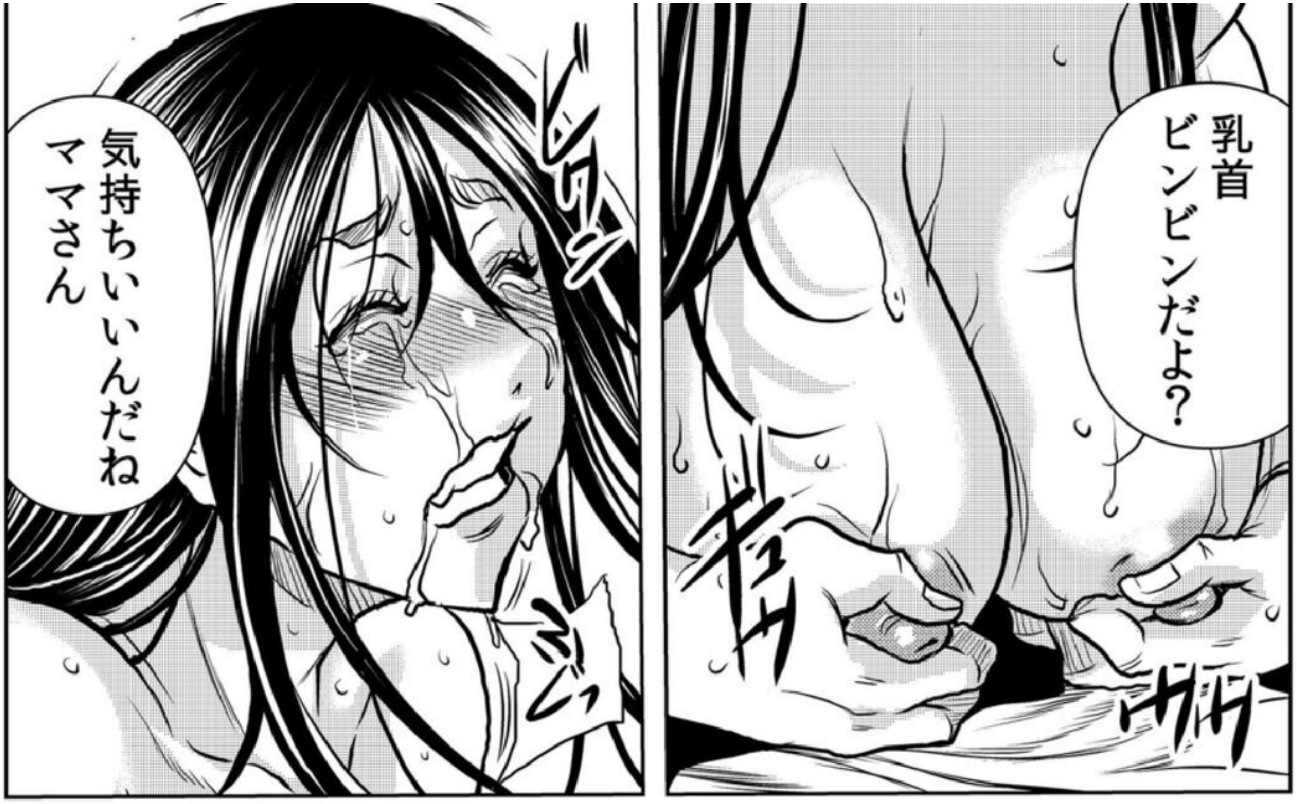
すんなり入るようになったネ
慣れてきたかな？ ママさん…

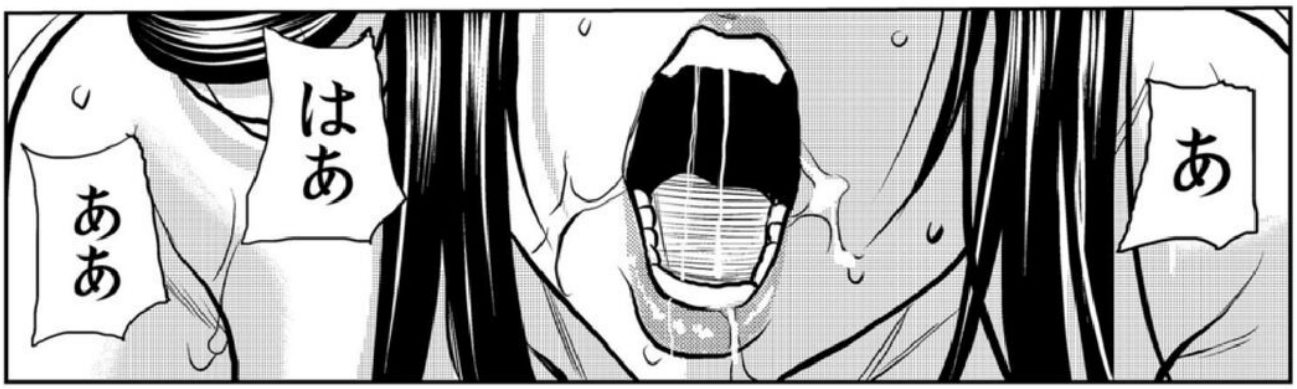
さっきの佳菜美さん…
色っぽかったな…

カラ ララ…
カチャ…
そわ
そわ

あん
あん
あっ
ぶるっ
ぶるん
ぶるっ
ぶるっ
ちゃぽっ
ちゃぽっ
あっ
あっ
あっ
ちゃぽっ
ちゃぽっ
ちゃぽっ

ああ
ちゃぽっ
ちゃぽっ
はぁあああっ
ちゃぽっ
ちゃぽっ
は
ちゃ
っっっ


乳首
ビンビンだよ？
気持ちいいんだね
ママさん


あ
はあ
ああ

今タケル君は
ママさんの
着替えを
想像して…
興奮してるんじゃ
ないかな…？

そ…
んな…
こ…っ
ある
わ…け…

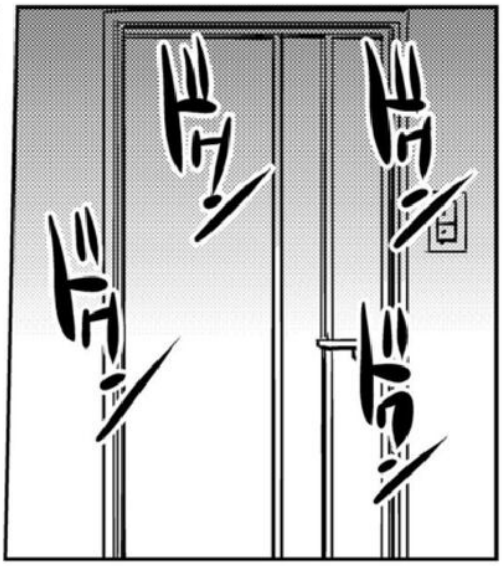
オ●ニーとか
してるかも
しれないね

な…っ
なに
言って…っ

もしかしたら
扉の外で…
聞き耳を
立ててるかもね…
はぁ
はぁっ
はぁあ

そ…
そんな…
まさか…
ドクン
ドクン

ぎゅむっ


ドクン
ドクン
ドクン

はぁ
はっ
はっ
オヤオヤ
突然膣内(なか)が
キツくなったよ
興奮して感じて
きちゃったかい？
ずちゃ
ずちゃ

ちが…
ちが…っ
あっ
あんっ
あんっ

いいや
違わない
覗かれてるかも
しれないと
思って
ママさんは
興奮してるん
だよ
とんでもない
ヘンタイだね
あっ
あんっ

そんな…
そんなぁ……
あっ
あっ
はっ
はぁ

ふぐぅ
ううあああ…っ

トイレ勝手に借りちゃったけど…
マズかったかな…
二人とも遅いな…
なにしてるんだろう…
ヤバーーッ…
ゴボボボ…
あ
あ
あ
あ
あ
…!?
なに…？この声…
なんだか…
エ…エッチな声が…!?

あ
ギッ
ギッ
はあ
ギッ
あ
ギッ

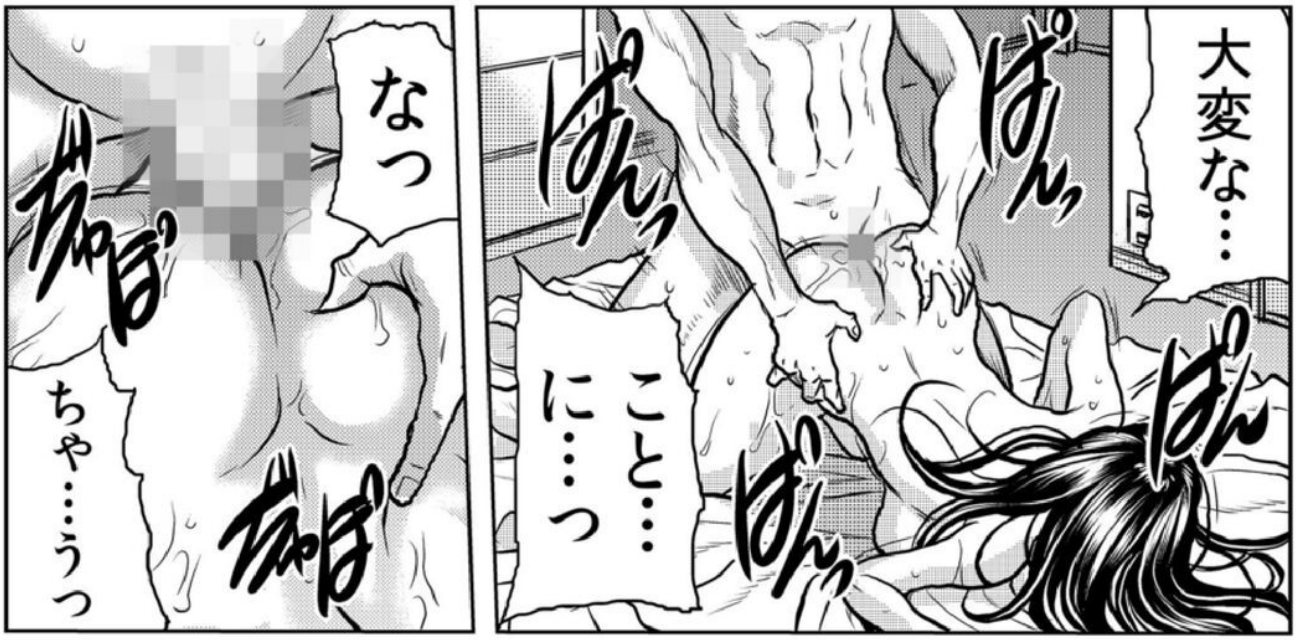
はあっ
はあっ

あっ
はっ
あっ
あっ
ばちゃ
ばちゃ
ばちゃ
ばちゃ

ぢゅぼっ
ぢゅぼっ

むにゅ
むにゅ

も…もうダメよ…っ
タ…ケル君に…聞かれでもし…た…らっ


大変な…こと…に…っ
なっ
ちゃ…うっ

そうだね
大変なことになるね

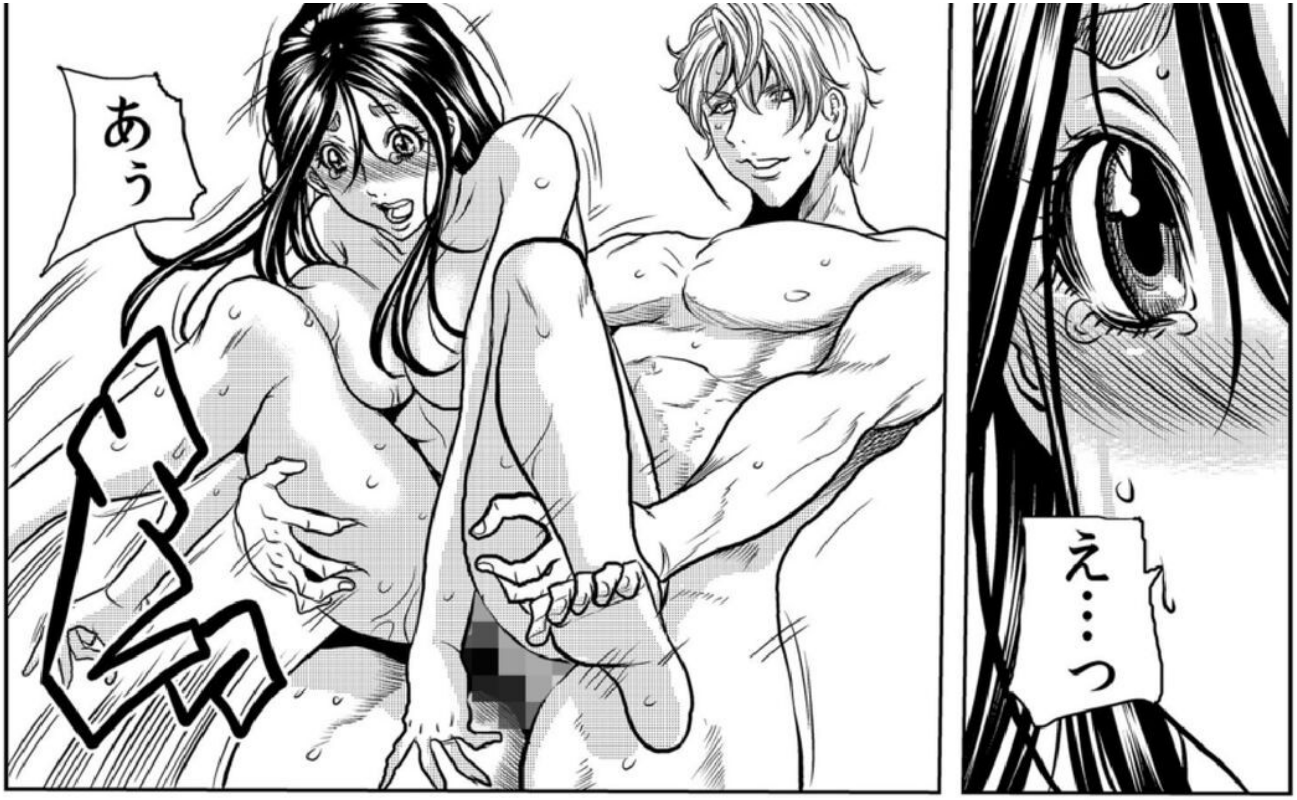
そう言いながらずいぶん大きな声出てるけど
ぱん
ぱん
ぱん
！
それは大丈夫なのかい？

あっ
あっ
はあ

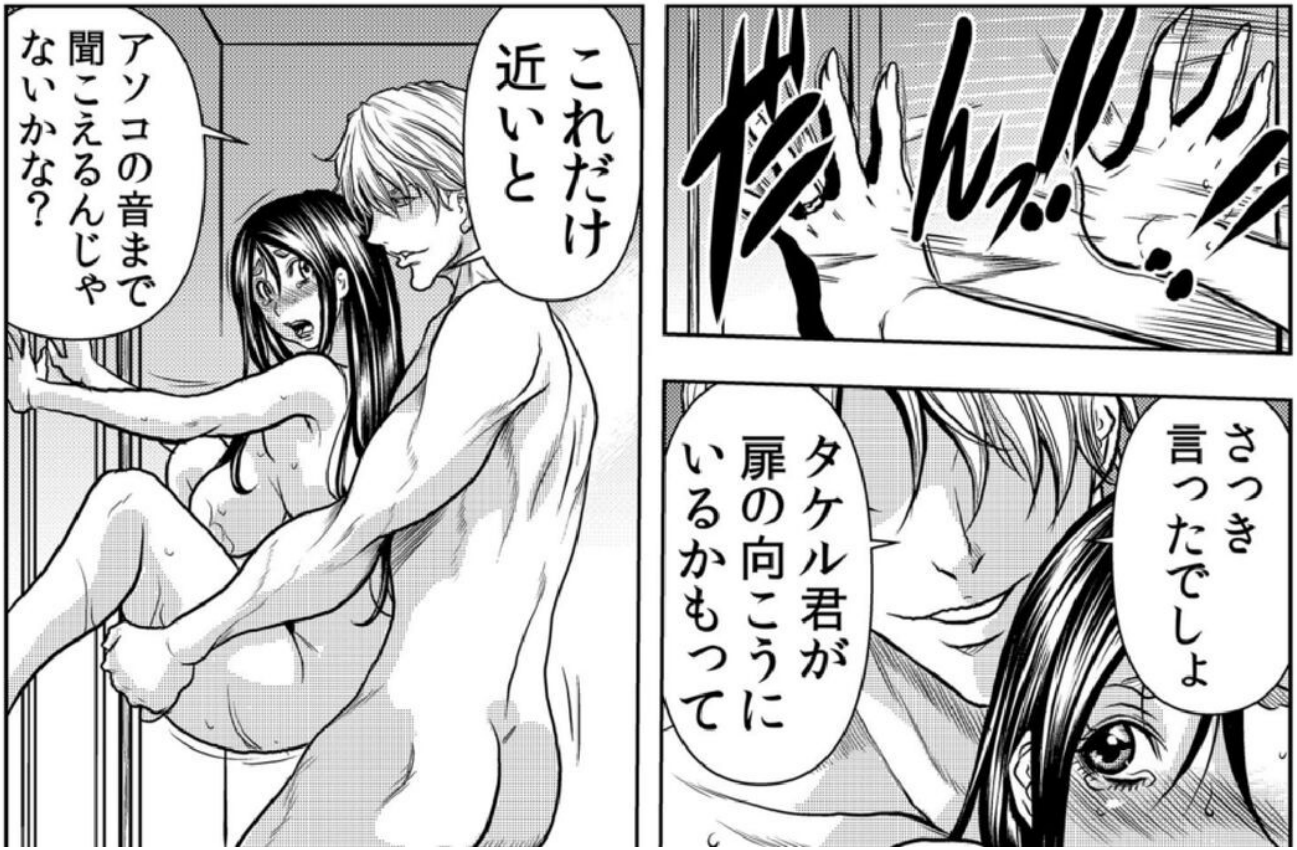
……っ

もう
遅いと思うけどね

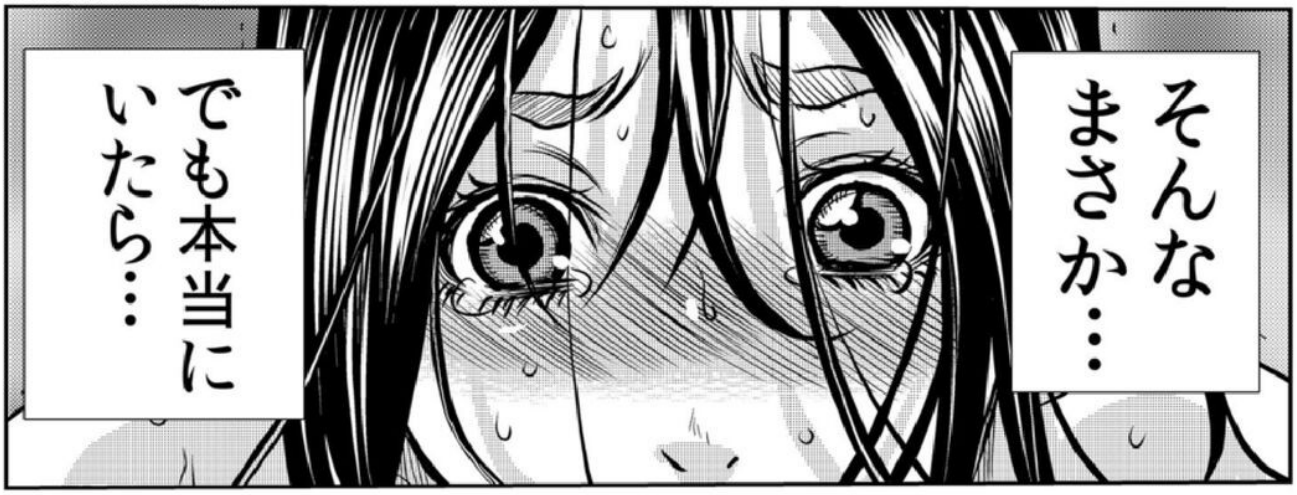
ばんっ
んっ
ばんっ
んっ
ばんっ
ばんっ
ばん


え…っ
あぅ

ちょ…
ちょっと
待って…
なに…？
なにするの
…!?

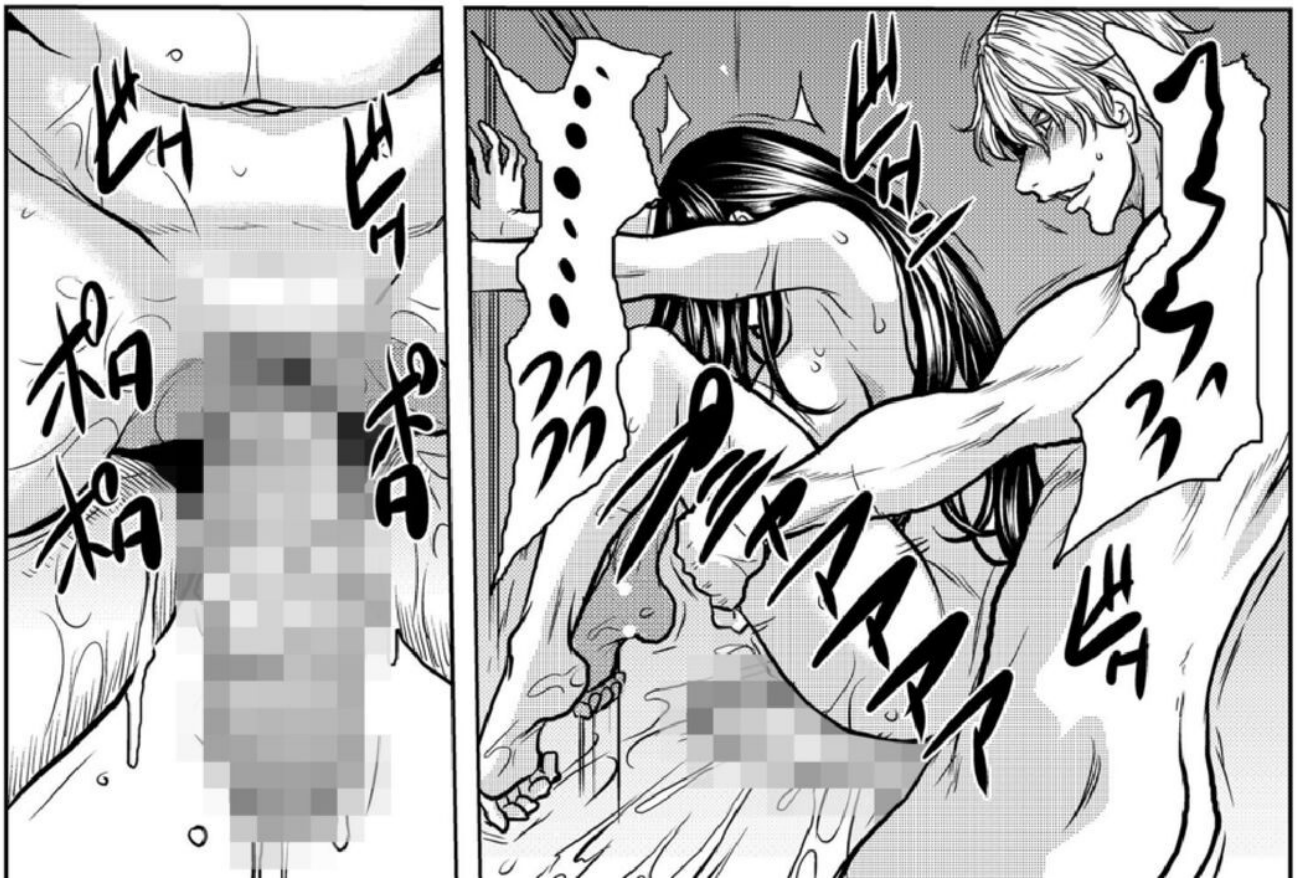

さっき
言ったでしょ
タケル君が
扉の向こうに
いるかもって
これだけ
近いと
アソコの音まで
聞こえるんじゃ
ないかな？

ドクン
ドクン
ドクン


そんな
まさか…
でも本当に
いたら…

興奮して
きたのかい？
…っっ
また…
キュキュキュ

ち…
ちが…
違う…っ



あ～あ
こんなにしちゃって…
あとで
拭いておかないとネ

はー
はー
ちゅ…

はっ
ズボッ

お願いだから…
もう…戻ら…ない…と…っ
タケル君に…
怪しまれ…るっ…

あっ
はぁ
んっ

また…
く…る…っ

わた…し
はっ
はっ
はっ
…も…う

……声が
消えた…？

確かに
上から聞こえたよなぁ…

ギシ…

勝手に上がっちゃダメだよな…
で…でも…
ゴクッ…
ギシ…
ギシ…
ギシ…
ギシ…

ギシ…
ギッ…
……
ギシ…
ギシ…

やあ
タケル君
ロ…
ロベルトさん…!?

ママさんは体調が良くないみたいで
眠ってしまったよ
そ…
そうですか…

……
タケル君
ひとついいかい?

え…
君が今抱いている感情は
決して許されるものじゃないんだよ

ママさんは人のものだ
わかるね？
家庭を持つ人を想うことは
いけないことなんだよ

自分の人生もその人の人生も
メチャクチャにする覚悟が必要になる

ロ…
ロベルトさん
なに
言って…!!
君は
若いんだ
道を踏み外す
こともない

今ならまだ
淡い恋心だったで
済ませられる

……
ロベルトさん
…
僕は……

君と話せて
良かったよ
タケル君

もう
帰ったほうが
イイ

ロベルト
さん…
あなたも…

!!A!
……
う…
ギシ
……

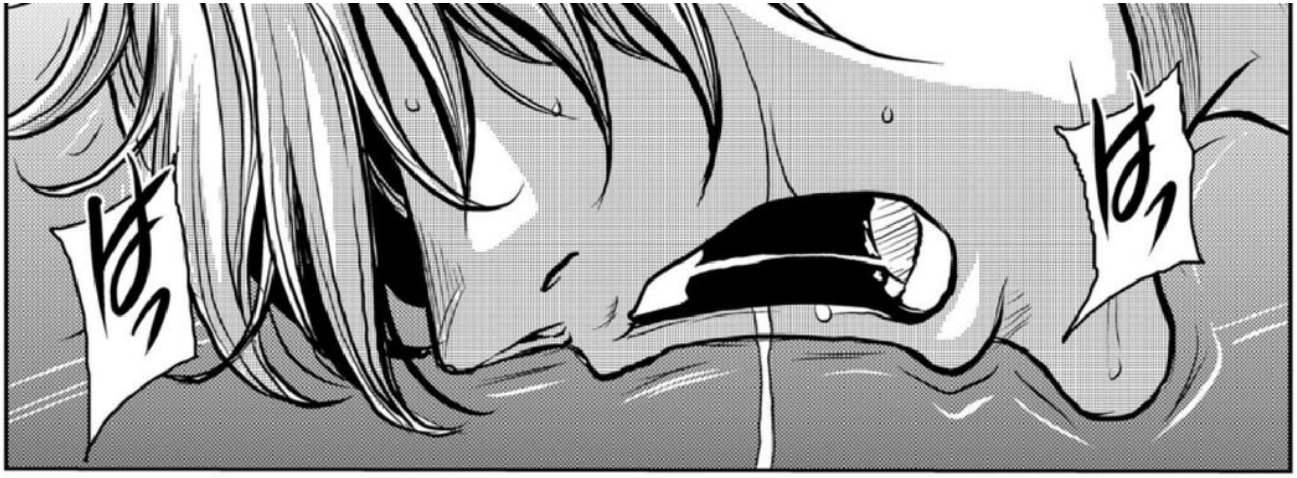
ん…
んく…っ
ん…
んっ

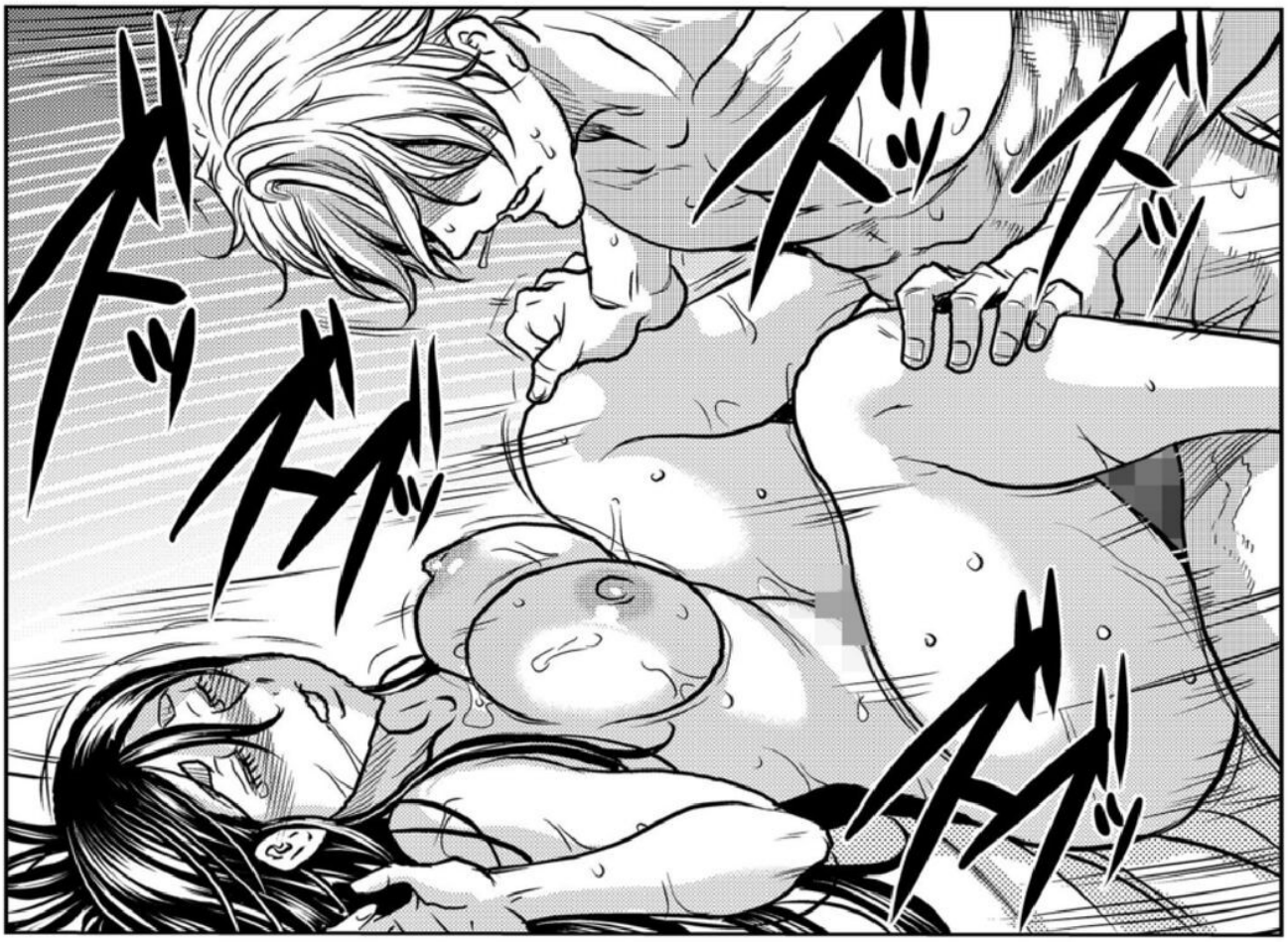
ん…っ
むにゅう
むにゅう

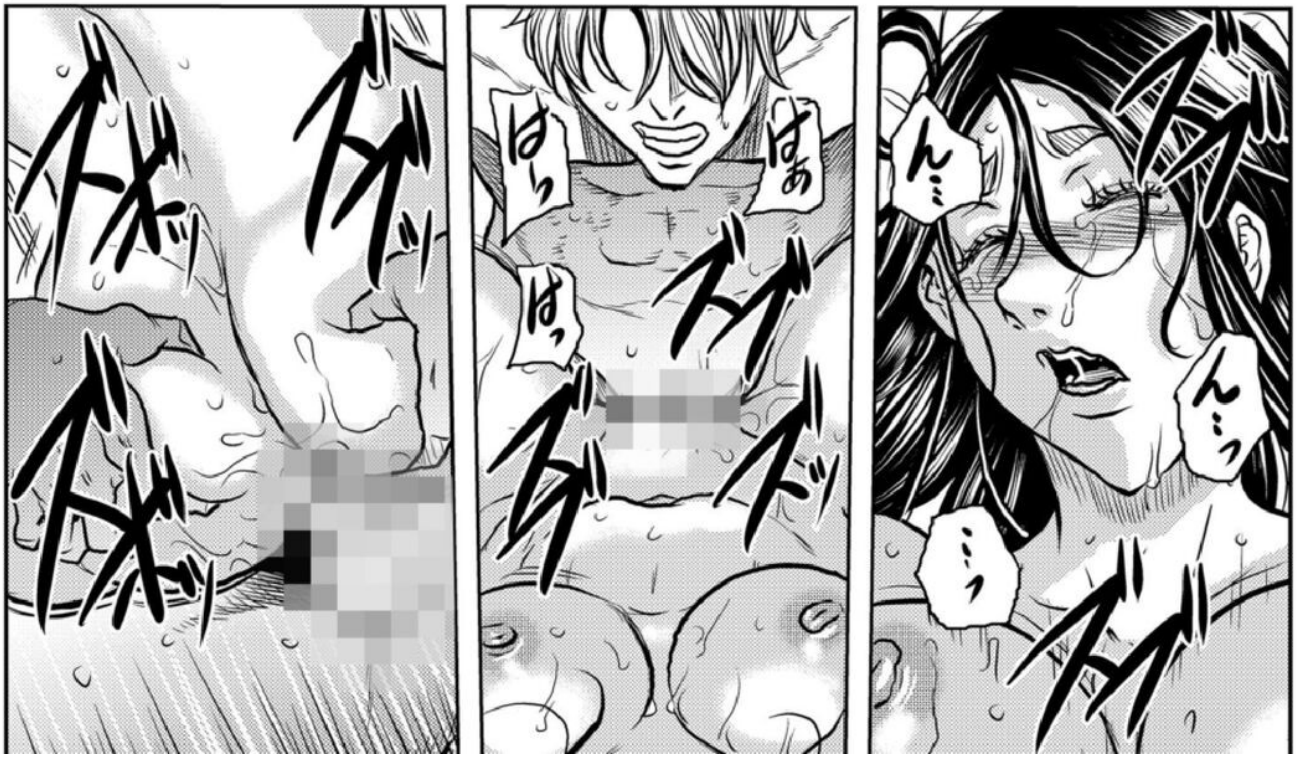
ズッ

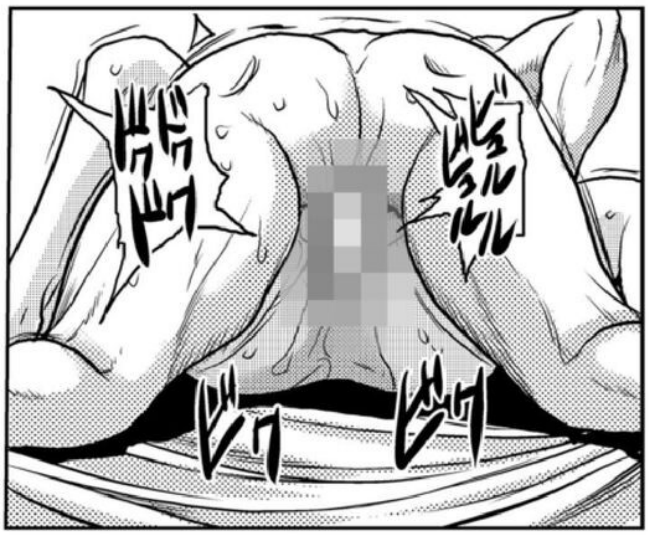
ズッ
ズッ

ヂュプ
ヂュプ
ヂュプ

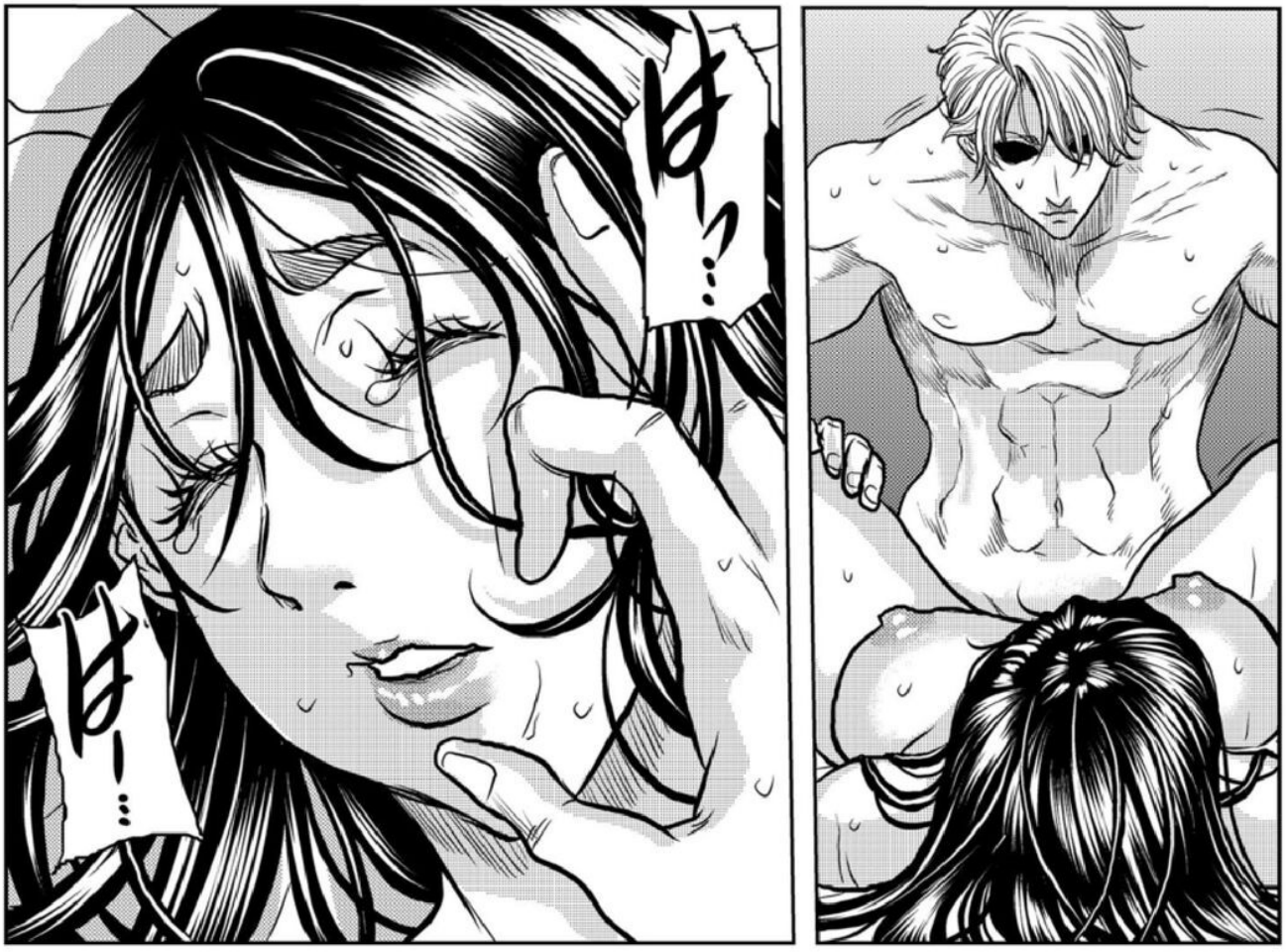

はっ
はっ


ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

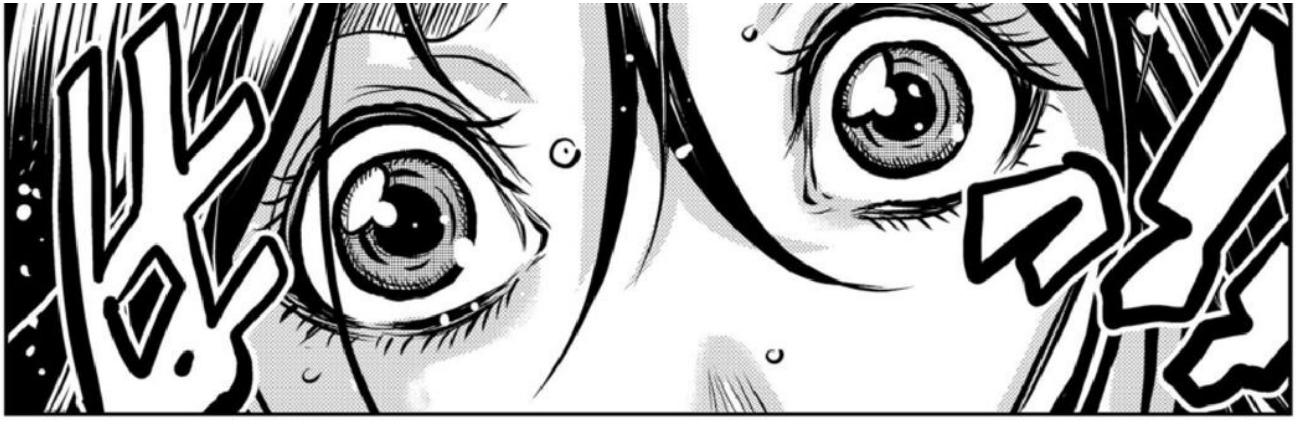

ズッ
ズッ
ズッ
はっ
はぁ
はっ
ズッ
ズッ
ん…
ん…っ
ん…っ
ズッ

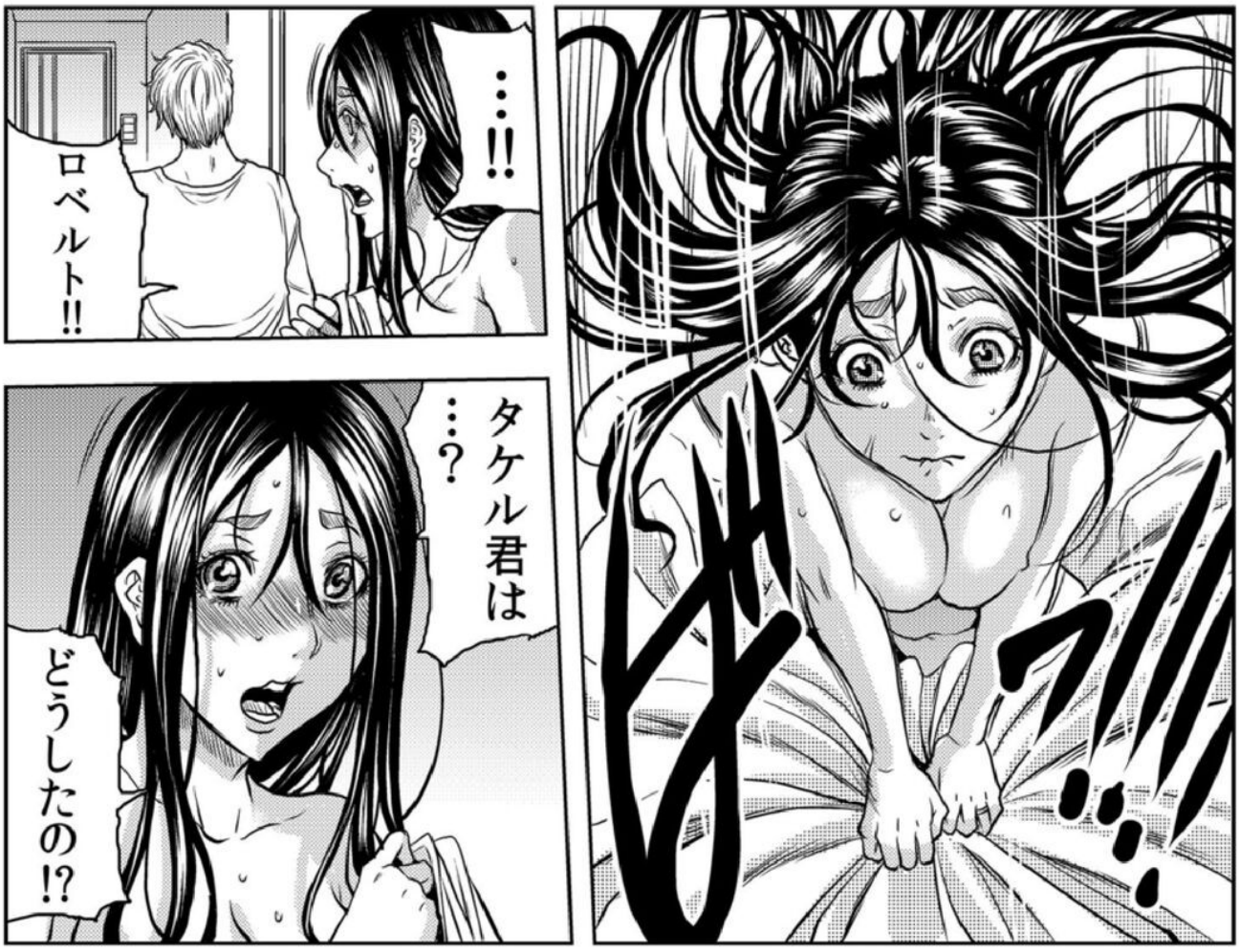


はあっ
はっ
はあっ

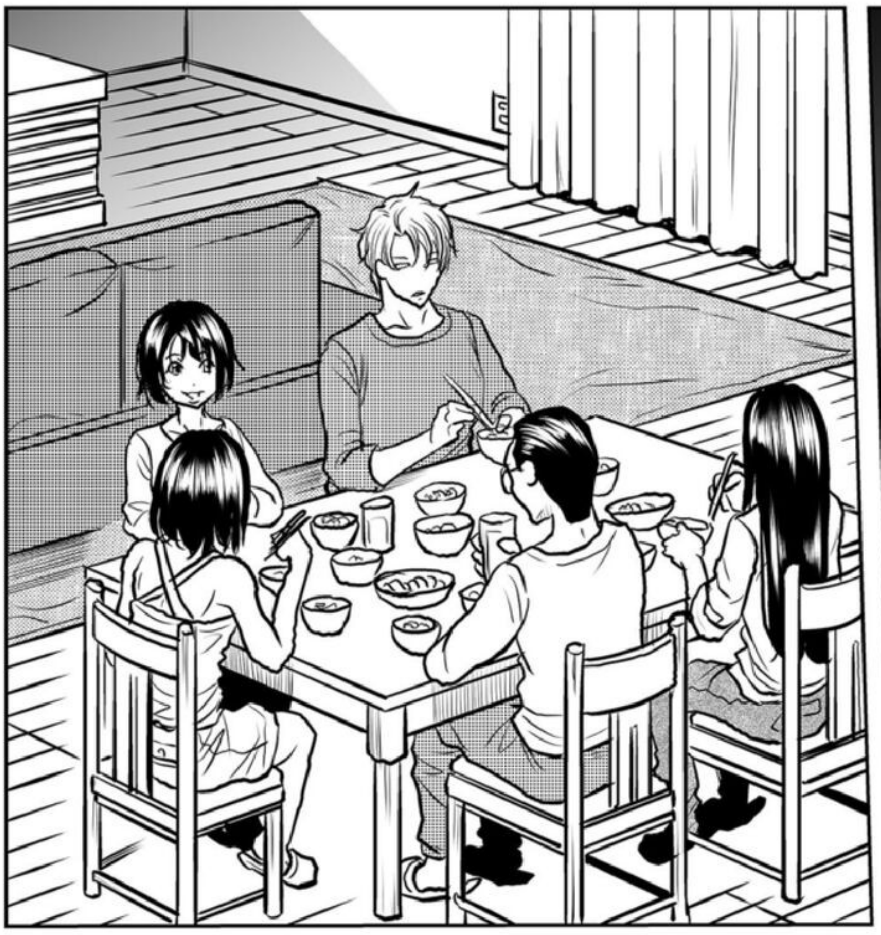

はっ…
はー…

フフ…
……
なにを…
エラそうに
…ね…




…!!
ロベルト!!
タケル君は…?
どうしたの!?

あの子は帰ったヨ
ママさんは体調が悪いから
寝てるって言っておいた
さ…早く晩ご飯の準備しないと
みんな帰ってくるヨ
……?
え…ええ…

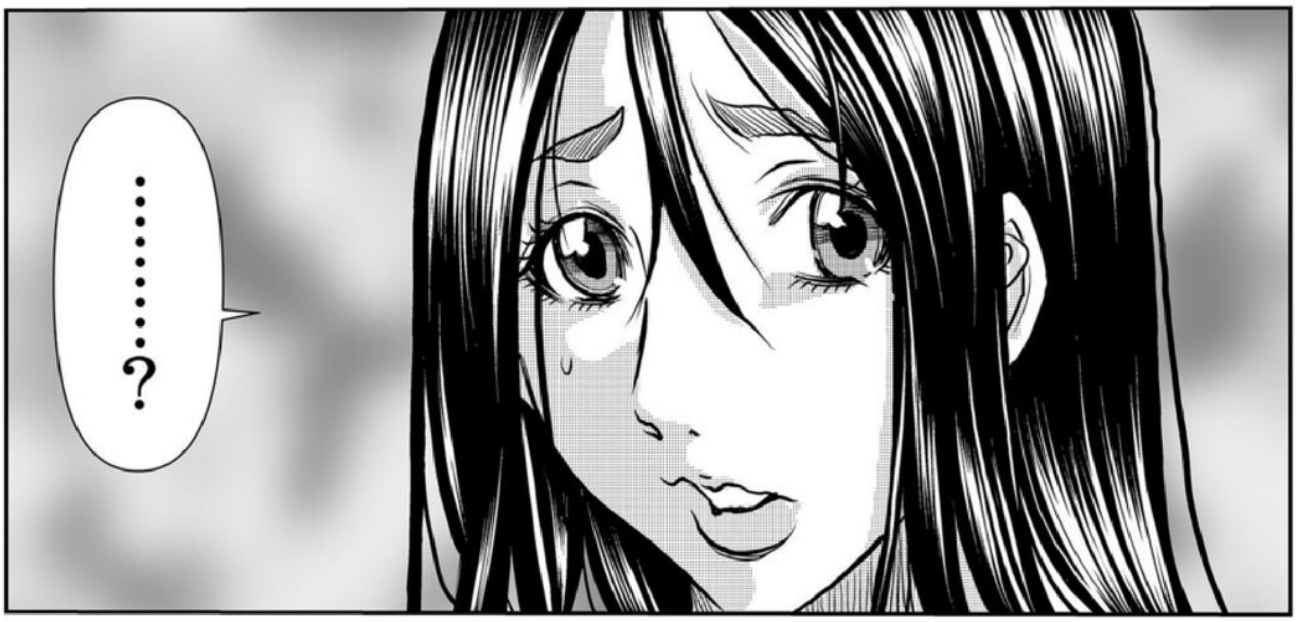


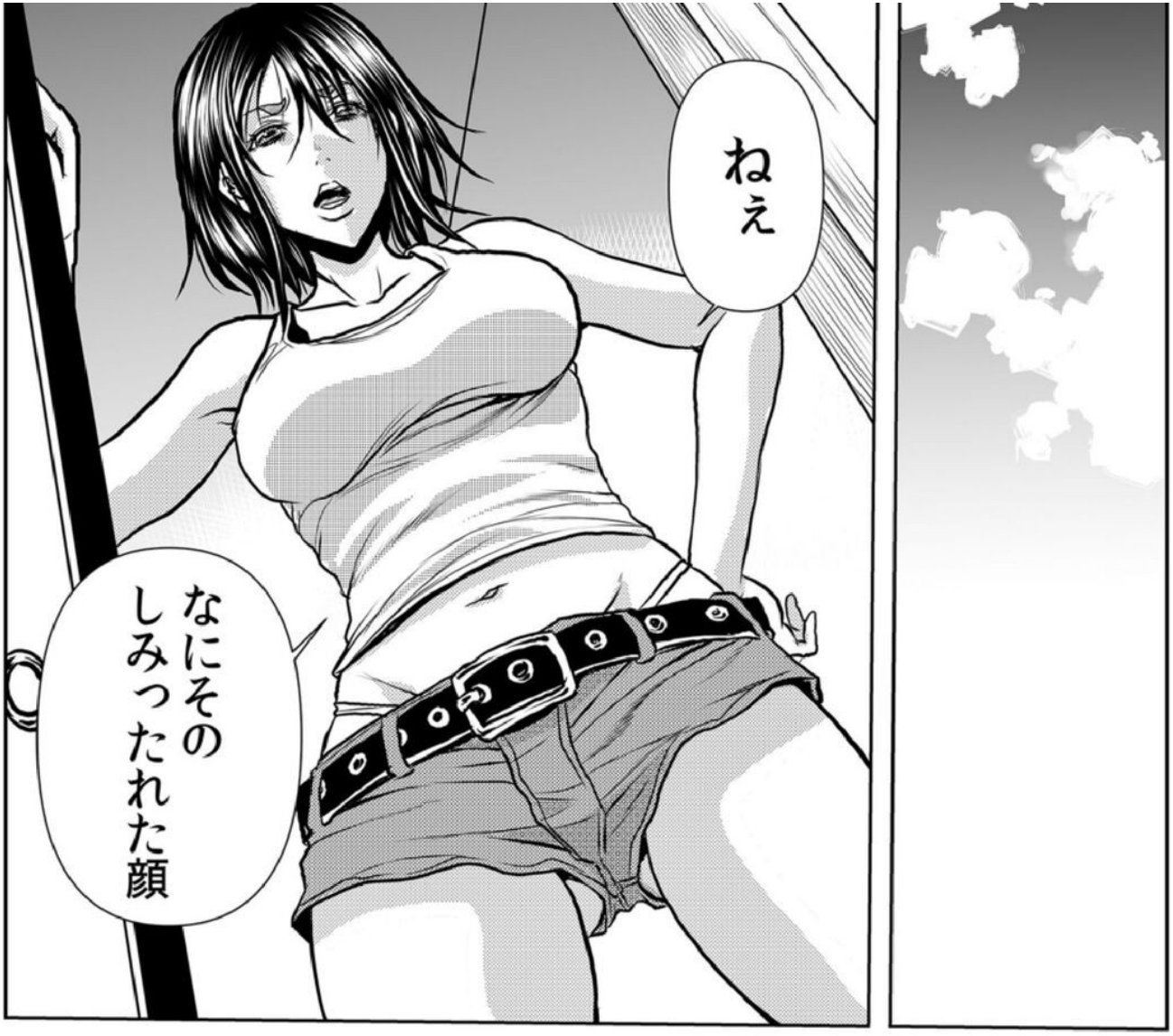
どうしたのロベルト
元気なくない？

……

そうかな？
大丈夫だよ

今日はもう休みマスね
みなさんおやすみなさい
ロベルト…
ロベルトどうしたんだろう…
風邪でもひいたのかな?


……?


ねぇ
なにそのしみったれた顔

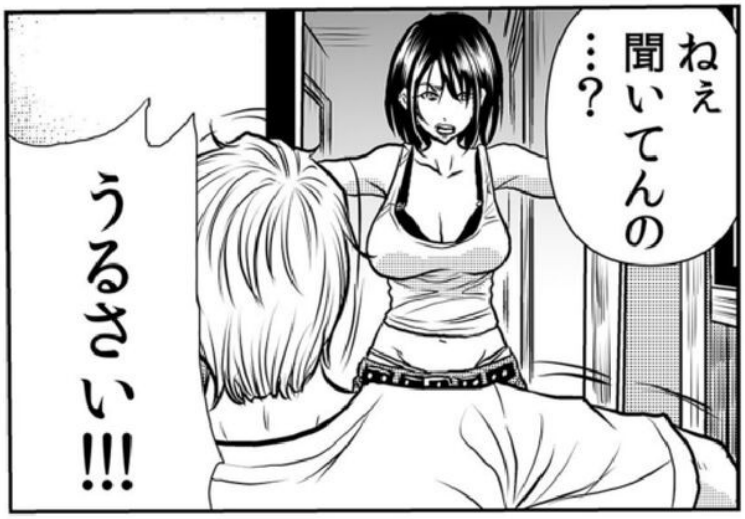
なんかあったの？
お姉ちゃんと

なにもないヨ
放っといてくれないかな

なにソレ!?
つまんな!!

もっとちゃんとやってよね
めちゃくちゃに面白くしてもらわないと…
……

パタン…


ねぇ聞いてんの…？
うるさい!!!

ガシッ
なっ

抱いてくれって
言ってたよね…
いいよ…
望み通りに
してあげるよ

なに？
突然…
アタシに
興味ないんじゃ
なかったっけ？

……
あん…
ちょっと
乱暴にしないで…
あっ

なっ
あっ
むにゅ
むにゅ

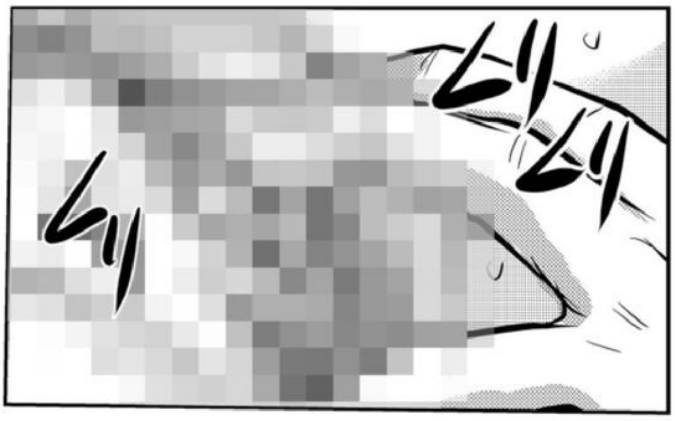
あはぁ♡

ちゅぽん

はん
ムチャムチャムチャ
はぁん♡
んん…♡
あん…
イイ…♡
もっとかき回してよ…♡
ギュッ

そうかい
じゃあ…
あっ♡

あっ



もっと
もっと
してよ…♡

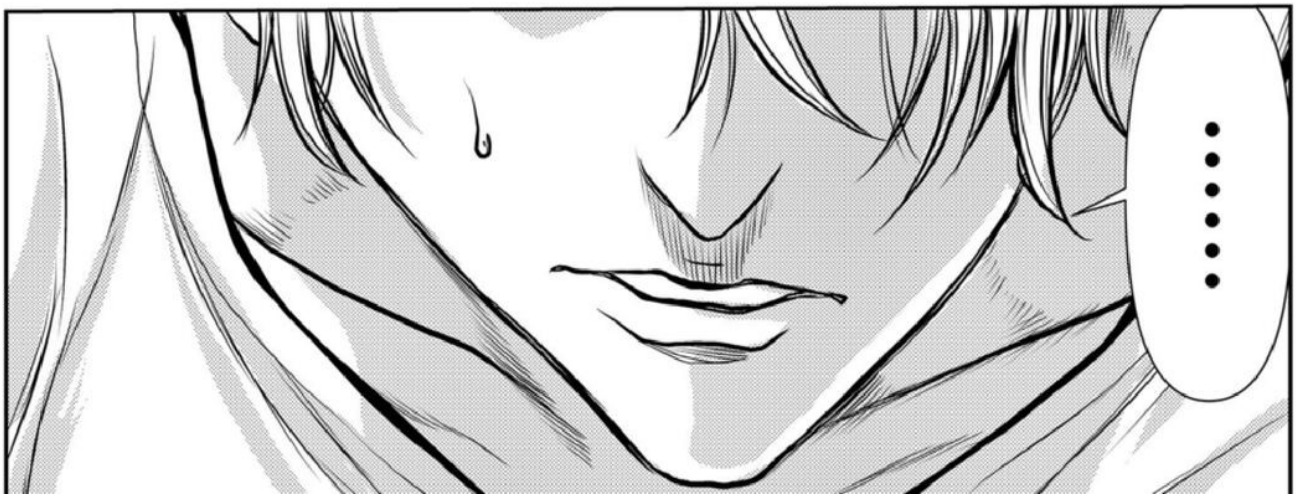
……
いえいえ…
……!!
わぁお…
硬くなってんじゃん…

はぁ♡♡♡

はぁ♡
はぁ
はぁ
舌
はぁ♡
はあ…♡
スッゴ…♡
んっ
んっ
んっ♡
んっ
ぼっ
ぼっ
ぼっ

はあ…♡
口に入りきらない…
ねえ…
もうガマンできない…
ずっと…
欲しかったのこれ…

はやく…欲しいの…
入れてよ…ココに…
ぬちゃ
あ…

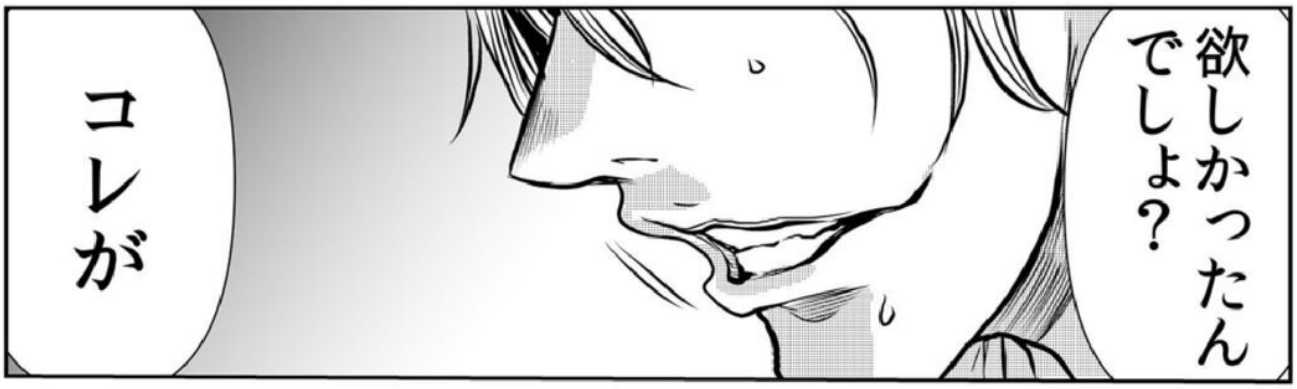

……

……
なに？
どうしたの？
……
ここまできてやめるなんて
言わないよね？
あぁ…

ホラ
す…
どうすんの？
コレ…
あ…♡
あっ!!!!

は…っ
か…っ
ぱがっ

ちょ…っ
ま…って…
いきなり
す…ぎ…


欲しかったんでしょ？
コレが

ずるる。。
はうっ

あっ
はぁ♡
はぁっ♡♡

なにコレ…
すっご…♡

ちょっと
ヤバ…
想像以上
……っ
♡

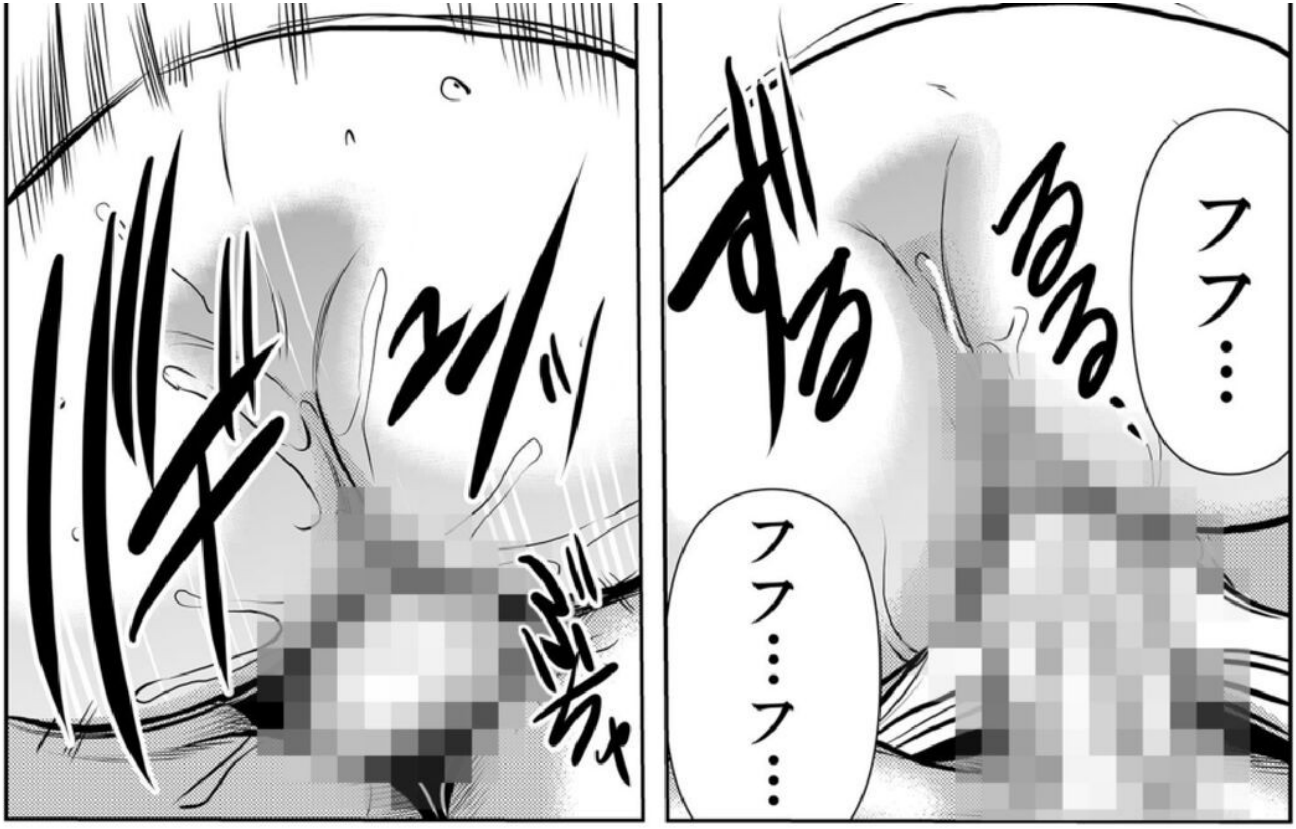
あっ
なぁ♡
ばちゃ
ばちゃ
ばちゃ
ばちゃ

はっ
あっ
あん
ばちゃ
ばちゃ
ばちゃ
ばちゃ
アタシに
興味ないとか
言っといて…
ガチガチ
じゃん
アンタの…♡

……つ
アタシのマ●コとお姉ちゃんのと…
どっちが気持ちイイ？

くだらないことを聞くね…
ねえどっち？答えてよ

……
…ママさんだよ


フフ…
フフ…フ…

ほんといいわアンタ…
じゃあ…
アタシのほうがいいってなるまで…
犯されてあげる♡

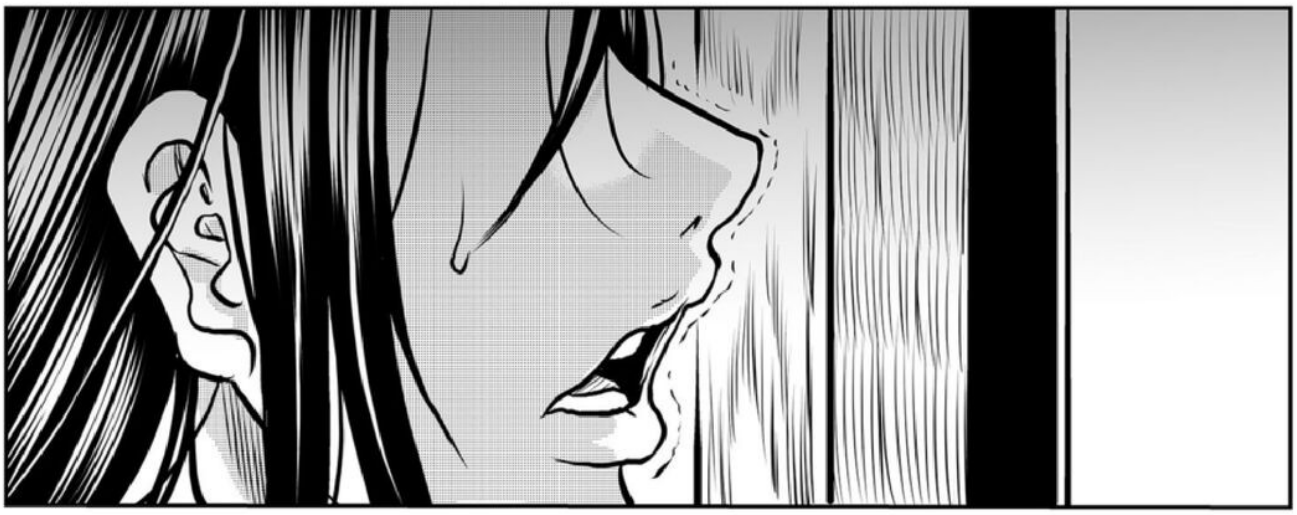
やっぱり
おかしいヨ
君は…
アンタも
同類
じゃない♡

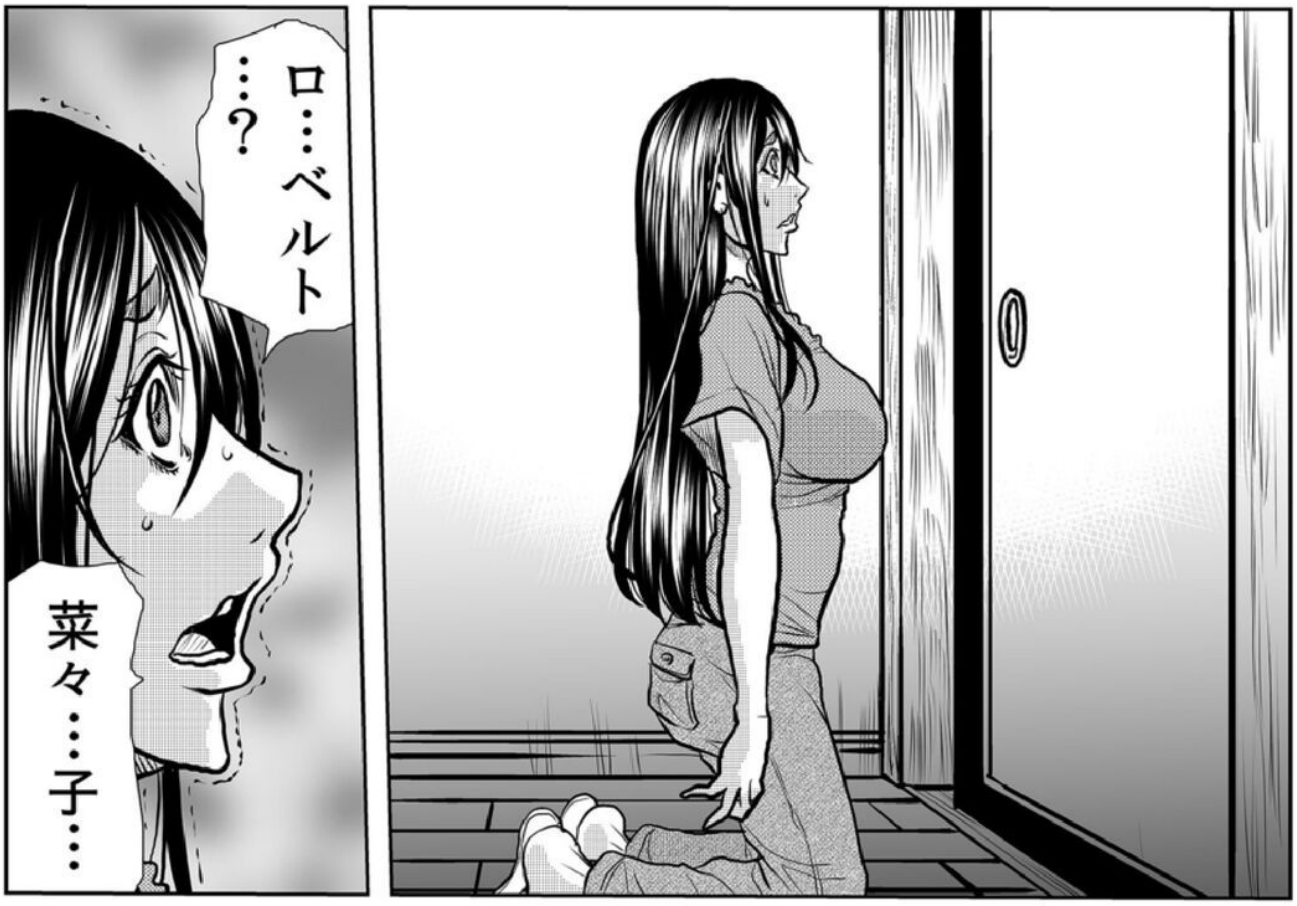
はあっ
ああ♡
もっと♡
もっと
突いて♡

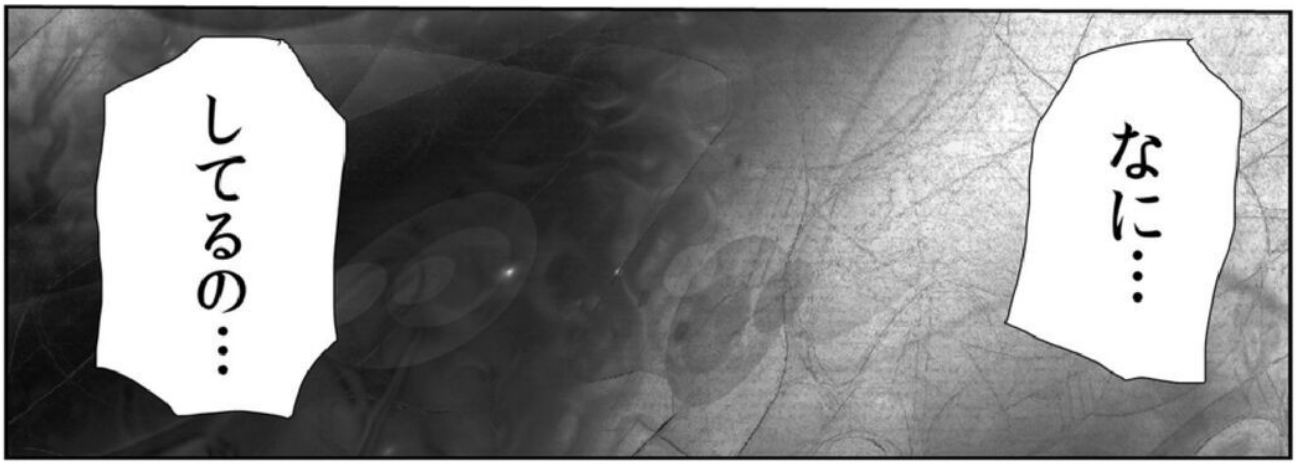
あっ♡
はあ♡
あっ♡
ばちゃ
ばちゃ
ばちゃ
ばちゃ
はあ♡♡
ばちゃ
ばちゃ
ビク
ビク
ビク

あっ♡
はあ
ビク
ビクン
ビクン
ああああっ♡♡
ビク
ビク
ビクン

まだよ…
ま…だ…
もっともっと
してちょうだい
…♡




ロ…ベルト…？
菜々…子…


なに…
してるの…

～作品紹介～

これ以上触られたら腰動いちゃうっ

生意気ギャルが従兄のアレに堕ちるまで…

～「だめっ激しく突かれたら…またイクッ」

著：De

絶頂征服！
ECSTASY & CONQUEST Z

恥辱、凌辱、調教責めまくり！

著者：断華ナオキ

©2021 断華ナオキ

発行所：ＳＴＤパブリッシング

この物語はフィクションです。 登場する人物・団体・名称等は架空であり、
実在のものとは関係ありません。

本作品の無断複写・複製・転写を禁じます。